

保健管理センター業務報告書

(2020年度版)

筑波大学保健管理センター

目 次

1. 保健管理センター沿革	1
2. 保健管理センター細則	3
3. 保健管理センター運営委員会	
1) 運営委員名簿	11
2) 運営委員会議事	12
4. 保健管理センターの組織図及び職員	
1) 組織図	13
2) 職員	14
5. 対応業務等	15
6. 入学志願者健康診断書審査及び精密健康診断	18
7. 学生健康診断	
1) 定期健康診断	
i) 受診状況	19
a) 学群生	19
b) 大学院生	19
c) 研究生等	19
ii) 健康診断再検査者	20
2) 特殊健康診断	
i) 電離放射線健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）	21
ii) 有機溶剤健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）	21
iii) 特定化学物質健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）	21
8. 職員健康診断	
1) 一般健康診断	
i) 受診者数及び受診率	22
ii) 項目別有所見者数及び率とその内訳	23
iii) 労働安全衛生規則 13 条第 1 項第 2 号の業務（特定業務）の従事者	24
iv) 胃造影検査	24
2) 特殊健康診断	
i) 電離放射線健康診断（常勤職員及び非常勤職員，研究員，その他）	25
ii) 有機溶剤健康診断（常勤職員及び非常勤職員，研究員，その他）	25
iii) 特定化学物質健康診断（常勤職員及び非常勤職員，研究員，その他）	25
3) 特定健康診査（メタボリックシンドローム健康診断）	26
4) その他	
i) 便潜血反応検査	27

ii) P S A 検査	27
9. 保健管理センター利用状況	
1) 健康相談月別利用状況	
i) 学生内科受診数	28
ii) 学生整形外科受診数	28
iii) 学生外科処置受診数	28
iv) 学生歯科受診数	29
v) 学生精神科受診数	29
vi) 職員・その他	30
2) 診療収入等	31
10. その他	
1) インフルエンザワクチン接種	32
2) H B s 抗原抗体検査	32
3) 臨床検査実施数	33
4) エックス線写真撮影件数及び枚数	34
5) 心理検査実施数	35
6) 処方箋発行数	36
7) 外部診療機関紹介状況	37
8) 健康診断証明書等発行数	37
9) 救護活動	38
10) 救急箱貸出数	39
11) 医療安全教育研修	40
11. 研究業績	41

1. 保健管理センター沿革

昭和48年10月の筑波大学の開学にあわせて、保健管理センターが設置された。昭和49年4月に専任の職員が発令となり、オリンピック記念青少年総合センターにおいて開かれた新入学生オリエンテーション以降、臨床医学系教員ほか関係各位の協力を得て救護活動を開始した。

昭和49年6月3日に筑波地区での講義開始に合せ、体育合宿所の一部で本格的業務を開始し、昭和50年7月に専用の建物が現在地に竣工し、移転した。

なお、昭和49年9月から、文部省（現文部科学省）共済組合筑波大学支部診療所が当センターに併設され、以後その業務についてもセンター職員が兼務している。

昭和53年3月31日の東京教育大学の閉学、筑波大学への移管に伴い、東京教育大学で健康管理業務を担ってきた健康相談所も閉鎖され、本学東京地区職員の健康管理業務は当センターが行うことになった。

昭和54年10月から、一の矢学生宿舎に夜間医務室を設け、医師が宿泊し夜間の救急に備えた。

開学当初は学生相談の対応とともに内科、精神科、整形外科及び歯科を開設し、昭和50年に眼科（～平成元年度）、また昭和57年には婦人科（～平成8年度）が開設され、さらに昭和63年には運動選手を主たる対象とするスポーツ・クリニックも始められた。

平成元年に創立15周年を迎え、記念誌「健康への歩み」を発行した。

平成3年7月に、本学が当番大学となり第29回全国大学保健管理研究集会関東甲信越地方部会研究集会を大学会館国際会議室において開催した。

平成3年末に、附属病院の救急部の新設や近隣病院の開設等の医療体制の整備に伴い、一の矢学生宿舎の夜間医務室を廃止した。また、プロジェクトとしてのスポーツ・クリニックが終了し、平成4年度からはスポーツ外来部門を当センターの業務、トレーニング・クリニック部門を体育センターの業務とするスポーツ・クリニックがスタートした。

平成6年には、創立20周年を迎え、記念誌「学生相談室20周年誌」を発行した。

平成9年12月に、センター事務室等の改修工事が行われ、事務部門及び看護部門を一体化し、サービスセンターとしての機能の向上を図った。

平成10年4月から、健康診断実施業務の充実と省力化を図るため外部業者に業務委託を行うとともに、関連業務の効率化を図るための電算化を開始した。

平成11年には、健康診断業務の電算化をさらに推進し、受診者の健康管理や健康診断証明書発行業務等での一層の効率化を図った。また、創立25周年を迎え、記念誌を発行した。

平成14年10月の図書館情報大学との統合に伴い同大学体育・保健センターの保健部門との組織及び業務の統合が行われた。

平成16年4月の国立大学法人化に伴い、当センターも労働安全衛生法に基づく労働安全衛生業務を担当することになり、センター職員も産業医や衛生管理者として専門的業務に対応することになった。

平成19年7月に、本学が当番大学となり第45回全国大学保健管理研究集会関東甲信越地方部会研究集会を大学会館講堂において開催した。

平成20年1月に、学生健康診断証明書の証明書自動発行機からの発行が開始となり、学生の利便性が図られた。

平成23年3月に、学生相談のWEBサイトのリニューアルを行い、モバイルサイトを構築した。

平成24年2月に、学生相談窓口を春日エリアにも開設した。

平成24年3月に、保健管理センターホームページのリニューアルを行った。

平成25年10月1日から、耐震改修工事のため、文部科学省共済組合筑波大学支部診療所を休診とし、当センターのみ11月11日に、クラブハウスに仮移転して診療業務を開始した。なお、文部科学省共済組合筑波大学支部診療所は、耐震改修後の併設が困難なことから、平成26年1月31日に廃止した。

平成26年6月24日に、当センターの耐震改修工事が完了したため、仮移転先のクラブハウスから移転した。

平成27年10月から、本学附属病院主催の「診療の安全に関する研修」（年2回開催）を当センターにてDVD研修として実施した。

平成28年6月に設置された保健管理センターのあり方検討会を経て、11月に保健管理センター改革準備委員会が設置され、平成29年6月に役員会において改革提言（診療の有償化、健診・救護に関わる業務の効率化、学生相談・メンタルヘルス対策充実に関わる体制・環境の見直し及び管理・運営体制の見直し）が報告された。

改革提言のもと、平成30年4月よりセンター組織をフィジカルヘルス部門とメンタルヘルス部門に分け、副所長を設置した。さらに入試救護の集約化、後発医薬品の積極採用が行われた。平成31年1月からは診療情報管理システム“THOCS”を導入し、診療料金等の有償化を開始した。同年4月、保健管理センターから学生相談室を分離独立させ、学生相談体制の強化を図った。また、スポーツ・クリニックを整形外科に統合した。さらに、同年度より健康診断における法定外の項目を中心とする検査項目の見直しが行われた。

令和元年11月に感染症予防対策の一環として、希望者に対し、インフルエンザワクチン接種を実施した。

令和2年8月に新型コロナウイルス感染症の疑いのある者に対する発熱外来（電話診療）を設置した。

大学周辺には歯科施設が充足している状況にあること等を踏まえ、令和3年3月31日を以って歯科診療を廃止した。

2. 保健管理センター細則

〔平成 16 年 4 月 1 日〕
保健管理センター部局細則第 1 号

改正 平成 26 年保健管理センター部局細則第 1 号
平成 30 年保健管理センター部局細則第 1 号
平成 30 年保健管理センター部局細則第 2 号
平成 31 年保健管理センター部局細則第 1 号
令和 元年保健管理センター部局細則第 1 号
令和 元年保健管理センター部局細則第 2 号
令和 2 年保健管理センター部局細則第 1 号
令和 3 年保健管理センター部局細則第 1 号

保健管理センター細則

(趣 旨)

第 1 条 この部局細則は、国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則（平成 16 年法人規則第 1 号。以下「基本規則」という。）第 51 条第 5 項の規定に基づき、保健管理センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(目 的)

第 2 条 センターは、国立大学法人筑波大学（以下「本学」という）における保健管理に関する専門的な業務を行い、もって本学の学生及び職員の心身の健康の維持及び増進を図ることを目的とする。

(業 務)

第 3 条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 学生及び職員等の健康管理等についての企画及び立案に関すること。
- (2) 学生及び職員等の定期及び臨時の健康診断の実施並びに保健指導に関すること。
- (3) 学生及び職員等の急病等に対し応急診療及び救急処置を行うこと。
- (4) 学生及び職員等の健康相談に応じること。
- (5) 学生のメンタルヘルスに関する相談、診療及び企画を行うこと。
- (6) 環境衛生及び伝染病の予防に関し教育指導を行うこと。
- (7) 心身の健康障害の予防及び保健管理の充実向上のための専門的調査研究を行うこと。
- (8) その他健康管理等に関する専門的業務を行うこと。

2 センターは、前項各号の業務のうち職員に係るものについては、基本規則第 35 条第 1 項及び国立大学法人筑波大学職員の安全衛生管理規則（平成 16 年法人規則第 29 号）第 10 条に規定する

特別な組織として設置される環境安全管理室と連携して、これを行うものとする。

(診療料金等)

第4条 前条第1項第3号及び第5号に規定する診療及び処置に関する業務において、診察費、薬剤費、検査費、処置費、書類作成費等（以下「診療料金等」という。）を徴収する。

2 前項に規定する診療料金等の額及び徴収方法は、別表のとおりとする。

3 第1項に規定する診療料金等の領収証書、領収済報告書及び原符の様式は、それぞれ別記様式第1号から第3号までのとおりとする。

(副所長)

第5条 センターに、副所長を置く。

2 副所長は、センターの業務に従事する大学教員のうちからセンターの長（以下「所長」という。）が指名する。

3 副所長は、所長の職務を補佐する。

4 副所長の任期は、2年とする。ただし、任期の終期は、副所長となる日の属する年度の翌年度の末日とする。

(部 門)

第6条 センターに、次の表の左欄に掲げる部門を置き、同表右欄の業務を担当する。

名 称	担当業務
フィジカルヘルス部門	身体の健康に関する業務
メンタルヘルス部門	メンタルヘルスに関する業務

2 前項に規定する部門にリーダーを置き、所長が指名する。

3 リーダーは、第1項に掲げる業務を統括する。

4 リーダーの任期は、2年とする。ただし、任期の終期は、リーダーとなる日の属する年度の翌年度の末日とする。

(運営委員会)

第7条 センターに、基本規則第53条第1項に規定する運営委員会として、センター運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、センターの管理運営に関する基本的な事項を審議する。

3 委員会は、次に掲げる委員で組織する。

(1) 所長

- (2) 副所長
- (3) センターの業務に従事する大学教員 2 人
- (4) 医学医療系長の推薦に基づき所長が委嘱する大学教員 3 人
- (5) その他センターの維持運営に関係する大学教員 5 人
- (6) 学生部長

第 8 条 前条第 3 項第 3 号から第 5 号までの委員の任期は、2 年とする。ただし、任期の終期は、委員となる日の属する年度の翌年度の末日とする。

- 2 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 前 2 項の委員は、再任されることができる。

第 9 条 委員会に委員長を置き、第 7 条第 3 項第 1 号の委員をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を主宰する。
- 3 委員長に事故があるときは、第 7 条第 3 項第 2 号の委員がその職務を代行する。

第 10 条 委員会は、過半数の委員が出席しなければ、議事を開き、議決することができない。

- 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(専門研究員)

第 11 条 センターに、特定の業務について調査研究を行わせるため、専門研究員を置くことができる。

- 2 専門研究員は、大学教員のうちから所長が指名する。
- 3 専門研究員の任期は、1 年とする。ただし、任期の終期は、専門研究員となる日の属する年度の末日とする。

(センター会議)

第 12 条 センターに、センターの業務の円滑な運営を図るため、センター会議を置く。

- 2 センター会議に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この部局細則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則施行前に運営委員会の委員である者であって、この部局細則施行後も当該委員として任期が引き続くものについては、この部局細則により運営委員会の委員となるものとみなす。ただし、その任期は、第 5 条第 1 項本文の規定にかかわらず、この部局細則施行の日から平成

17年3月31日までとする。

附 則（平26.12.16保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、平成26年12月16日から施行し、改正後の国立大学法人筑波大学保健管理センター細則の規定は、平成25年4月1日から適用する。

附 則（平30.3.20保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平30.12.21保健管理センター部局細則2号）

この部局細則は、平成31年1月1日から施行する。

附 則（平31.3.1保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則（令元.9.6保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、令和元年10月1日から施行する。

附 則（令元.10.8保健管理センター部局細則2号）

この部局細則は、令和元年11月1日から施行する。

附 則（令2.6.22保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、令和2年6月22日から施行し、改正後の保健管理センター細則の規定は、令和2年4月1日から適用する。

附 則（令3.3.10保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、令和3年4月1日から施行する。

別表（第4条関係）

1 診療料金等の額

単位：円

項 目		内 科	整形外科	精神科
(1) 診察費		500	500	1,000
(2) 薬剤費		300	300	1,000
(3) 検査費	(a) レントゲン	500	500	500
	(b) 心理検査			1,000
	(c) 心理検査（簡易）			500
	(d) その他の検査	500	500	500
(4) 処置費	(a) 医師処置	500	500	500
	(a) 紹介状	1,000	1,000	1,000
	(b) 診断書（センターの診療に基づくもの）	1,000	1,000	1,000
	(c) 特殊診断書	2,000	2,000	2,000
	(d) レントゲンコピー	500	500	500
	(e) 検査結果コピー	500	500	500
(5) 書類作成費等	(f) その他	1,000	1,000	1,000
	(a) インフルエンザ	2,500		

2 診療料金等の徴収方法

(1) 定期健康診断の呼出し診療

定期健康診断の呼出しによる診療及び再検査は、無料とする。ただし、当日に薬剤処方が必要な場合は、薬剤費を徴収する。

(2) 1診療科を受診する場合

レントゲン及び心理検査以外の検査は、複数行われた場合であっても、検査費は500円とする。

(3) 複数の診療科を受診する場合

診察費、薬剤費、検査費及び処置費は、それぞれの診療科の診療料金等の額の合計額とする。

(4) その他

(7) 学生及び職員の定期健康診断に基づく健康診断証明書の作成は無料とする。

(イ) 来所証明書及びSPEC指示書の作成は無料とする。

(ウ) 看護師健康相談は無料とする。

(エ) 松葉杖等装具貸出しは無料とする。

(オ) 学生の保護者、又は指導教員等に対する相談は無料とする。

(カ) 特殊診断書には、センターの診療に基づく定型の診断書以外のすべての診断書を含む。

領 収 証 書		No	
殿		(摘要)	
領 収 金 額		千	百
		十	万
		千	百
		十	円
上記金額領収いたしました。 年 月 日 国立大学法人筑波大学 出納役		領 収 日 付 印	
合計金額		円	

円
 円
 円

(大きさ A4)

領 収 済 報 告 書										No	
殿								（摘要）			
領 収 金 額				千	百	十	万	千	百	十	円
上記金額領収いたしました。 年 月 日 国立大学法人筑波大学 出納役										領 収 日 付 印	
円 円 円											
合計金額										円	

（大きさ A4）

別記様式第 3 号（第 4 条関係）

原 符		No	
殿		(摘要)	
領 収 金 額		千	百
		十	万
		千	百
		十	円
上記金額領収いたしました。 年 月 日 国立大学法人筑波大学 出納役		領 収 日 付 印	

円
 円
 円

 合計金額 円

(大きさ A4)

3. 保健管理センター運営委員会

1) 運営委員名簿

2020年4月1日現在

氏 名	職 名	所 属	任 期	備 考
(センター所長)				
◎坂 本 透	准教授	医 学 医 療 系	—	
(センター副所長)				
太 田 深 秀	准教授	医 学 医 療 系	—	
(センターの業務に従事する大学教員)				
久 賀 圭 祐	教 授	医 学 医 療 系	2020. 4. 1～2022. 3.31	
白 鳥 裕 貴	講 師	医 学 医 療 系	2020. 4. 1～2022. 3.31	
(医学医療系長の推薦に基づき所長が委嘱する大学教員)				
檜 澤 伸 之	教 授	医 学 医 療 系	2019. 4. 1～2021. 3.31	
家 田 真 樹	教 授	医 学 医 療 系	2019. 4. 1～2021. 3.31	
川 上 康	教 授	医 学 医 療 系	2019. 4. 1～2021. 3.31	
(その他センターの維持運営に関係する大学教員)				
中 村 修	教 授	環境安全管理室	2020. 4. 1～2022. 3.31	環境安全管理室長
加 賀 信 広	教 授	人 文 社 会 系	2020. 4. 1～2022. 3.31	学生生活支援室長
杉 江 征	教 授	人 間 系	2020. 4. 1～2022. 3.31	学生相談室長
白 木 仁	教 授	体 育 系	2020. 4. 1～2022. 3.31	体育センター長
新 井 哲 明	教 授	医 学 医 療 系	2020. 4. 1～2022. 3.31	附属病院 精神神経科グループ長
(本部部長であって学生生活に関する業務に従事する職員)				
佐 藤 勤	部 長	学 生 部	—	

◎は委員長を示す。

2) 運営委員会議事

2020年度の運営委員会は2回開催し、通常議題のほか、保健管理センター細則の一部改正（構成委員の変更）、診療科目等について審議を行った。

第1回 2020年10月23日オンライン会議開催

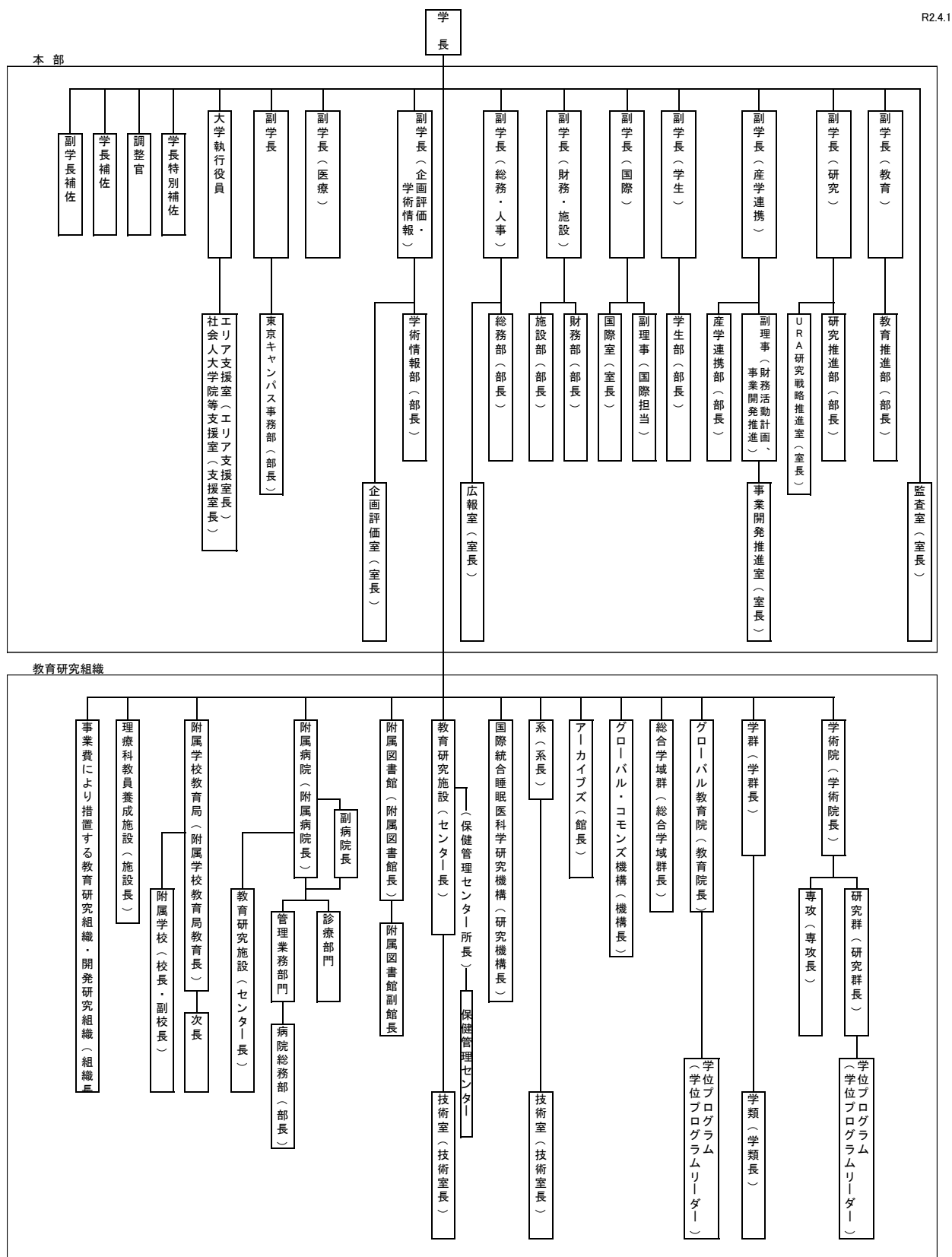
- 議題等
- ・保健管理センター細則の一部改正について（委員構成の変更）
 - ・診療科目について（歯科診療廃止）
 - ・2020年度保健管理センター年度計画について

第2回 2021年2月15日～22日メール審議開催

- 議題等
- ・保健管理センター細則の一部改正について（歯科処置費の削除）

4. 保健管理センターの組織図及び職員

1) 組織図



2) 職 員

所 長 内 科：坂本 透 准教授

副 所 長 精 神 科：太田 深秀 准教授

教 員 内 科：久賀 圭祐 教授＊，長谷川 直之 講師＊（～ 6/30），
間瀬 かおり 講師（7/1 ～）
整形外科：船山 徹 講師
精 神 科：白鳥 裕貴 講師＊，袖山 紀子 助教

医 療 職 員 岡本 祐子 看護師，寺門 恵美子 看護師，大川 明日香 看護師，
山崎 泰代 看護師，上等 美貴 保健師，細川 晴美 薬剤師
福島 幸子 歯科衛生士，片岡 裕司 診療放射線技師，
吉村 敦子 精神保健福祉士（5/1 ～）

事 務 職 員 金井 浩紫 専門員，鈴木 文子 係長

非 常 勤 医 師 榎本 真美（内科），望月 美恵（内科），
埜口 博司（整形外科），宮本 芳明（整形外科），
武田 さき子（歯科），竹田 弘美（歯科），石井 映美（精神科）

非常勤職員等 渡邊 明子 薬剤師，稲葉 由美子 臨床検査技師，
増田 彩乃 臨床心理士（テスター）（5/1 ～）
松木 博 シニアスタッフ，鈴木 京子 シニアスタッフ，
黒堀 沙織 事務補佐員

（注）＊は産業医

他に臨床医学域，心理学域，体育系からの多数の教員の御協力・御支援をいただいた。

5. 対 応 業 務 等

4 月	入学式救護と新入生オリエンテーション対応（中止） 学群学生，大学院学生，研究生，日本語研修生等の定期健康診断と再検査（延期）
5 月	放射線業務従事者講習会に伴う電離放射線健康診断（中止） 学生定期健康診断に伴う再検査・精密検査（延期） 障害のある学生定期健康診断（中止） 職員一般定期健康診断（延期） 学生・職員特殊健康診断（延期） 職員便潜血検査・前立腺特異抗原（PSA）検査（延期） 春季スポーツ・デー救護（中止） 学群学生，大学院学生，研究生，日本語研修生等の定期健康診断（Web問診）
6 月	職員一般定期健康診断（延期） 学生・職員特殊健康診断（延期） 職員の便潜血検査・前立腺特異抗原（PSA）検査（延期） 職員一般定期健康診断（東京地区）（延期） 学生・職員特殊健康診断（東京地区）（延期） 職員の便潜血検査・前立腺特異抗原（PSA）検査（東京地区）（延期） 学生定期健康診断に伴う再検査・精密検査（Web問診） 体育専門学群学生水泳臨海実習参加者健康診断審査・精密検査（中止）
7 月	学生健康診断（証明書が必要な学生） 放射線業務従事者講習会に伴う電離放射線健康診断（中止） 学生定期健康診断に伴う再検査・精密検査（Web問診） 共通科目「体育」集中実習（水辺活動）受講学生に対する健康診断審査・精密検査（中止） 大学院推薦入学試験に伴う救護（延期） 学群編入学試験に伴う救護（延期）
8 月	体育専門学群学生水泳臨海実習参加者健康診断審査・精密検査（中止） 大学院入学試験に伴う救護（中止） 受験生のための筑波大学説明会に伴う救護（オンライン開催。中止） 関東甲信越大学体育大会に伴う救護（中止） 全国大学保健管理協会・関東甲信越地方部会研究集会参加（中止） 学生健康診断（証明書が必要な学生） 発熱外来
9 月	学生健康診断（証明書が必要な学生） 大学院推薦入学試験に伴う救護（7月延期分） 学群編入学試験に伴う救護（7月延期分） 発熱外来
10 月	インフルエンザワクチン接種 放射線業務従事者講習会に伴う電離放射線健康診断（11月分前倒し） アドミッションセンター入学試験（第Ⅰ期），国際科学オリンピック特別入学試験，

10月	国際バカロレア特別入学試験に伴う救護 大学院入学試験（10月期および8月から延期分）に伴う救護 全国大学保健管理研究集会参加（オンライン参加） 発熱外来 学群学生定期健康診断と再検査（学群1年次生）
11月	秋学期入学者・外国人留学生健康診断と再検査（結核高負荷国のみ実施） 職員一般定期健康診断（5～6月延期分） 職員の便潜血検査・前立腺特異抗原（PSA）検査（5～6月延期分） 学生・職員特殊健康診断・眼底検査 放射線業務従事者講習会に伴う電離放射線健康診断（10月に移行） 職員一般定期健康診断（東京地区）（6月延期分） 職員の便潜血検査・前立腺特異抗原（PSA）検査（東京地区）（6月延期分） 学生定期健康診断（東京地区）（6月延期分） 職員特殊健康診断（東京地区） 職員の胃エックス線検査・眼底検査（東京地区） 学園祭に伴う救護（中止） 秋季スポーツ・デー救護（中止） 学群推薦入学試験に伴う救護 学群推薦入学試験（体育専門学群）に伴う精密検査 インフルエンザワクチン接種 発熱外来
12月	学群編入学試験追試験に伴う救護 学群学生, 大学院学生, 研究生, 日本語研修生等の定期健康診断と再検査（4月延期分） 学群1年次生, 大学院1年次生および結核高負担国からの研究生・日本語研修生） 職員の胃エックス線検査 大学院（グローバル教育院）入学試験に伴う救護 インフルエンザワクチン接種 発熱外来
1月	大学入学共通テストに伴う救護 大学院入学試験（2月期）に伴う救護 発熱外来
2月	学生定期健康診断（医学類, 看護・医療科学類, 教育実習, 介護等体験） 個別学力検査等試験前期日程に伴う精密検査・救護 発熱外来
3月	放射線業務従事者講習会に伴う電離放射線健康診断 個別学力検査試験後期日程に伴う救護 卒業式・学位記授与式に伴う救護 発熱外来

（注）（東京地区）の記載のないものはすべて筑波地区で実施したもの。

標記の行事等対応業務のほか、次の日常的主要業務を行った。

- ・ 内科，整形外科，スポーツクリニック，歯科，精神科の日常診療，健康相談，随時応急措置
- ・ 学生健康診断追加検査
- ・ 学生，職員要経過観察者の管理
- ・ 精神衛生相談，職業適性テスト，ロールシャッハテスト
- ・ 健康診断証明書の発行
- ・ Web問診受検証明書の発行
- ・ スポーツ健康診断
- ・ 海外派遣労働者健康診断
- ・ 新型コロナウイルス感染症に伴う帰国困難卒業留学生に対する診療・健康診断

6. 入学志願者健康診断書審査及び精密健康診断

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
学 群 個 別 学 力 検 査											0 26		0 26
学 群 推 薦 A C 入 試								0 20					0 20
科 目 等 履修生群生													
大 学 院													
科目等履修生 大学院研究生													
研 究 生・ 聴 講 生													
理療科教員 養 成 施 設						6 0		10 0					16 0
外 国 人 留 学 生													
2学期入学 編 入 学													
計						6 0		10 20			0 26		16 46

※上段は書類審査数，下段は精密健康診断を実施

7. 学 生 健 康 診 断

1) 定期健康診断

i) 受診状況

a) 学群生

健 診 種 別	2 月（実習）			Web 問診			7～9 月 (証明書)	10～12 月新入生		
学 群	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	在籍者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)
人 文・文 化 学 群	60	58	96.7%	1,089	831	76.3%	58	247	122	49.4%
社 会・国 際 学 群	5	2	40.0%	778	602	77.4%	41	177	61	34.5%
人 間 学 群	59	56	94.9%	537	478	89.0%	35	126	90	71.4%
生 命 環 境 学 群	40	37	92.5%	1,202	981	81.6%	28	281	117	41.6%
理 工 学 群	40	39	97.5%	2,297	1,820	79.2%	40	565	227	40.2%
情 報 学 群	3	3	100.0%	1,102	906	82.2%	25	278	81	29.1%
グ ローバル教育院	1	0	0.0%	24	15	62.5%	0	4	2	50.0%
医 学 群	510	490	96.1%	1,329	1,264	95.1%	26	261	205	78.5%
体 育 専 門 学 群	160	139	86.9%	1,024	795	77.6%	66	249	113	45.4%
芸 術 専 門 学 群	36	30	83.3%	453	372	82.1%	16	103	45	43.7%
学 群 計	914	854	93.4%	9,835	8,064	82.0%	335	2291	1063	46.4%

b) 大学院生

大 学 院	5	4	80.0%	6,960	4,574	65.7%	403	2,547	405	15.9%
-------	---	---	-------	-------	-------	-------	-----	-------	-----	-------

c) 研究生等

研 究 生 等	0	0	0.0%	726	228	31.4%	3	60	8	13.3%
---------	---	---	------	-----	-----	-------	---	----	---	-------

合 計	919	858	93.4%	17,521	12,866	73.4%	741	4,898	1,476	30.1%
-----	-----	-----	-------	--------	--------	-------	-----	-------	-------	-------

ii) 健康診断再検査者

項 目		学 群 生				大 学 院 生				研 究 生 等				合 計			
		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果	
				要 治 療	経 過 観 察			要 治 療	経 過 観 察			要 治 療	経 過 観 察			要 治 療	経 過 観 察
W e b 問 診		25	11	0	5	2	1	0	0	0	0	0	0	27	12	0	5
胸部エックス線		8	8	0	8	4	4	0	4	0	0	0	0	12	12	0	12
血 圧		1	1	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0
尿	蛋 白	16	15	0	0	6	5	1	0	0	0	0	0	22	20	1	0
	糖	4	4	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0
内 科 所 見		5	5	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	6	6	0	1
心 電 図		42	39	0	39									42	39	0	39
計		76	72	0	47	15	14	1	5	0	0	0	0	91	86	1	52

項 目		学 群 生				大 学 院 生				研 究 生 等				合 計			
		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果	
				継 続	終 了			継 続	終 了			継 続	終 了			継 続	終 了
こころの健康		886	72	48	24	309	41	23	18	24	0	0	0	1219	113	71	42

(注) Web 問診は全学生を対象とした。

(注) 胸部エックス線検査対象者は、学群1年生、大学院1年生、結核高負担国出身非正規新入生、および実習等で健康診断証明書が必要な学生である。

(注) 心電図検査対象者は、体育専門学群1年生および、実習等で健康診断証明書が必要な体育専門学群生・学群1年生である。

(注) 血圧・尿・内科診察の対象者は、実習等で健康診断証明書が必要な学生である。

(注) 結果：異常なしは、受検者数－(要治療＋経過観察)である。

(注) 2019年度より肥満は健康診断証明書での指導のみとした。

2) 学生特殊健康診断

i) 電離放射線健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）

実 施 月	対 象 数	受 診 数	要再検数	結 果		
				異常なし	要 観 察	要 治 療
初心者（5月）	中止					
定 期（7月）	160	150	0	0	0	0
初心者（7月）	中止					
初心者（10月）	47	46	0	37	9	0
令和3年 定 期（1月）	213	183	0	0	0	0
初心者（3月）	53	49	0	42	7	0
合 計	473	428	0	79	16	0

（注）新型コロナウイルス感染症の影響から定期は時期変更，初心者は一部中止または時期変更となった。

ii) 有機溶剤健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）

実 施 月	対 象 数	受 診 数	要再検数	結 果		
				異常なし	要 観 察	要 治 療
5月	中止					
11月	28	28	0	26	2	0
合 計	28	28	0	26	2	0

iii) 特定化学物質健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）

実 施 月	対 象 数	受 診 数	要再検数	結 果		
				異常なし	要 観 察	要 治 療
5月	中止					
11月	26	26	0	20	6	0
合 計	26	26	0	20	6	0

8. 職 員 健 康 診 断

1) 一般健康診断

i) 受診者数及び受診率

(令和2年10月1日在職者，非常勤職員：週20時間以上の勤務者)

事業場	受診者数	対象者数	受診率
大学本部等事業場	2,411	3,315	72.7%
附属病院事業場	2,037	2,523	80.7%
東京キャンパス事業場	110	156	70.5%
附属小学校事業場	38	48	79.2%
附属中学校事業場	21	31	67.7%
附属高等学校事業場	36	46	78.3%
附属駒場中学校・ 附属駒場高等学校事業場	49	52	94.2%
附属坂戸高等学校事業場	45	52	86.5%
附属視覚特別支援学校事業場	95	112	84.8%
附属聴覚特別支援学校事業場	100	105	95.2%
附属大塚特別支援学校事業場	38	40	95.0%
附属桐が丘特別支援学校事業場	76	83	91.6%
附属久里浜特別支援学校事業場	39	46	84.8%
計	5,095	6,609	77.1%
(令和元年度)	6,098	6,401	95.3%

(令和3年2月4日までの集計結果)

健康診断実施日 筑波地区：令和2年11月9日～11月13日（5日間） 12月22日～12月25日（4日間）

東京地区：令和2年11月24日～11月25日（2日間）

附属坂戸高等学校事業場，附属久里浜養護学校事業場，その他の遠隔地では別日程で実施。人間ドックや他の医療機関等の結果報告を含む。

ii) 項目別有所見者数及び率とその内訳

項 目	実施者数	有所見者		要経過観察		要精密検査		要治療		治療継続	
		人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率
聴力検査 (1000Hz)	3,787人	102人	2.7%	102人	2.7%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
聴力検査 (4000Hz)	3,767人	134人	3.6%	134人	3.6%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
聴力検査 (会話法)	1,227人	4人	0.3%	4人	0.3%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
胸部エックス線 検査	4,966人	473人	9.5%	302人	6.1%	152人	3.1%	1人	0.0%	18人	0.4%
喀痰検査	0人										
血圧検査	5,074人	1,458人	28.7%	1,103人	21.7%	95人	1.9%	14人	0.3%	246人	4.8%
貧血検査	4,034人	899人	22.3%	745人	18.5%	91人	2.3%	49人	1.2%	14人	0.3%
肝機能検査	4,024人	1,191人	29.6%	761人	18.9%	421人	10.5%	4人	0.1%	5人	0.1%
血中脂質検査	4,019人	2,183人	54.3%	1,567人	39.0%	534人	13.3%	3人	0.1%	79人	2.0%
血糖検査	3,968人	658人	16.6%	527人	13.3%	53人	1.3%	7人	0.2%	71人	1.8%
尿検査(糖)	5,066人	119人	2.3%	9人	0.2%	56人	1.1%	0人	0.0%	54人	1.1%
尿検査(蛋白)	5,059人	273人	5.4%	260人	5.1%	13人	0.3%	0人	0.0%	0人	0.0%
心電図検査	3,966人	299人	7.5%	83人	2.1%	204人	5.1%	0人	0.0%	12人	0.3%

健康診断実施者中における上記項目全体の総合判定結果の人数と率

要経過観察		要精密検査		要治療		治療継続	
人数	率	人数	率	人数	率	人数	率
1,899人	37.3%	1,066人	20.9%	67人	1.3%	596人	11.7%

健康診断実施者中における上記項目全体の有所見者数及び率と要指示者数及び率

1つ以上所見のある者の数	有所見率	医療機関受診が必要な者の数	要指示率
3,628人	71.2%	1,401人	27.5%

iii) 労働安全衛生規則第13条第1項第2号の業務（特定業務）の従事者

業務	高熱	低温	放射線	粉じん	異常気圧	振動	重量物
人数	2人	2人	81人	0人	8人	2人	13人
業務	騒音	坑内	深夜	酸・アルカリ	有害物ガス	病原体汚染	その他
人数	3人	0人	436人	15人	4人	50人	0人

iv) 胃造影検査

地 区	対象数	受診数	受診率	要再検数
筑波地区	3,396	29	0.9%	2
東京地区	525	48	9.1%	0
合 計	3,921	77	2.0%	2

(注) 対象は、H30年度から40才以上の、常勤職員及び週20時間以上勤務の非常勤職員。平成25年度から全員間接撮影。

2) 特殊健康診断

i) 電離放射線健康診断：職員（常勤職員及び非常勤職員，研究員，その他）

実 施 月	対 象 数	受 診 数	要再検数	結 果		
				異常なし	要 観 察	要 治 療
5 月（初心者）						
7 月（継 続）	454	437	0	0	0	0
7 月（初心者）						
10 月（21 日）	6	6	0	6	0	0
令和 3 年 1 月（継 続）	461	447	0	0	0	0
3 月（3 日）	7	7	0	7	0	0
合 計	928	897	0	13	0	0

（注）実施月のうち 7 月，1 月以外は，新規に放射線作業に従事するために講習を受けた者のみの健康診断である。

令和 2 年度は新型コロナ感染拡大の影響で，継続者の健診（7 月，1 月）は全員検査省略とした。

ii) 有機溶剤健康診断：職員（常勤職員及び非常勤職員，研究員，その他）

実 施 月	対 象 数	受 診 数	要再検数	結 果		
				異常なし	要 観 察	要 治 療
5 月						
11 月	33	33	0	29	4	0
合 計	33	33	0	29	4	0

（注）令和 2 年度は新型コロナ感染拡大の影響で，7 月 1 日まで健診は実施できず。有機溶剤を使用する業務も実施できていないことから，春期（5 月）の健診は実施なし。

iii) 特定化学物質健康診断：職員（常勤職員及び非常勤職員，研究員，その他）

実 施 月	対 象 数	受 診 数	要再検数	結 果		
				異常なし	要 観 察	要 治 療
5 月						
11 月	18	18	0	11	7	0
合 計	18	18	0	11	7	0

（注）令和 2 年度は新型コロナ感染拡大の影響で，7 月 1 日まで健診は実施できず。化学物質を使用する業務も実施できていないことから，春期（5 月）の健診は実施なし。

3) 特定健康診査（メタボリックシンドローム健康診断）

対象	対象者数	受診者数 (受診率)	危険度0 (該当率)	危険度1 (該当率)	危険度2 (該当率)	危険度3 (該当率)	危険度4 (該当率)	判定不能 (該当率)
男	2,140人	1,464人 (68.4%)	727人 (49.7%)	123人 (8.4%)	290人 (19.8%)	245人 (16.7%)	79人 (5.4%)	0人 (0.0%)
女	1,781人	1,334人 (74.9%)	1,147人 (86.0%)	44人 (3.3%)	89人 (6.7%)	37人 (2.8%)	16人 (1.2%)	1人 (0.1%)
計	3,921人	2,798人 (71.4%)	1,874人 (67.0%)	167人 (6.0%)	379人 (13.5%)	282人 (10.1%)	95人 (3.4%)	1人 (0.0%)
治療薬服用者 (既治療率)			204人 (10.9%)		81人 (21.4%)	130人 (46.1%)	62人 (65.3%)	0人 (0.0%)

(注) 40歳以上職員を対象とする。

●診断基準

1. 腹囲 男性85cm以上 女性90cm以上

+

2. 血糖：空腹時血糖が 110mg/dl 以上 または ヘモグロビンA1c値が 6.0% 以上
 または 糖尿病で薬剤治療中

3. 血圧：収縮期血圧が 130mmHg 以上 または 拡張期血圧が 85mmHg 以上
 または 高血圧で薬剤治療中

4. 脂質：中性脂肪値が 150mg/dl 以上 または HDLコレステロール値が 40mg/dl 未満
 または 脂質異常症で薬剤治療中

●判定基準

危険度0（メタボリックシンドローム基準非該当）：全項目該当なし
 危険度1（メタボリックシンドローム基準非該当）：腹囲のみ該当
 危険度2（メタボリックシンドローム予備群該当）：腹囲＋1項目に該当
 危険度3（メタボリックシンドローム基準該当）：腹囲＋2項目に該当
 危険度4（メタボリックシンドローム基準該当）：全項目に該当
 判定不能：未実施項目があり判定できない

4) その他

i) 便潜血反応検査

地 区	対象数	受診数	受診率	要精密数
筑波地区	3,396	212	6.2%	20
東京地区	525	73	13.9%	4
合 計	3,921	285	7.3%	24

(注) 対象は、令和2年度から40才以上の、常勤職員及び週20時間以上勤務の非常勤職員。
免疫学的便潜血反応検査（ラテックス凝縮法）を用いた。。

ii) P S A検査

地 区	対象数	受診数	受診率
筑波地区	0	0	
東京地区	0	0	
合 計	0	0	

(注) 令和2年度は、新型コロナ感染拡大の影響で実施なし。

9. 保健管理センター利用状況

1) 健康相談月別利用状況

i) 学生内科受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学 群 生	8	3	9	21	14	19	157	125	76	22	21	27	502
大 学 院 生	9	14	10	20	13	23	104	59	48	42	24	29	395
研 究 生 等	2			2		3	5		3	4	1	3	23
合 計	19	17	19	43	27	45	266	184	127	68	46	59	920

ii) 学生整形外科受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学 群 生	6	11	4	14	17	32	52	30	19	25	29	49	288
大 学 院 生	10	7	9	15	8	13	12	5	4	7	10	12	112
研 究 生 等				1					1	1	1	6	10
合 計	16	18	13	30	25	45	64	35	24	33	40	67	410

iii) 学生外科処置・健康相談受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学 群 生	1			2	2	4	9	4	4	2	3	5	36
大 学 院 生	1	2	3	3	1	3	4	2	4	2		2	27
研 究 生 等	1						1		1	1		3	7
合 計	3	2	3	5	3	7	14	6	9	5	3	10	70

(注) 学生外科処置・健康相談受診数とは、看護師が実施した件数である。

iv) 学生歯科受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学 群 生	1	4	3	12	9	9	12	10	7	8	11	13	99
大 学 院 生	8	5	14	11	3	6	5	8	11	11	12	20	114
研 究 生 等	1	1	1	1	1					2	3	2	12
合 計	10	10	18	24	13	15	17	18	18	21	26	35	225

(注) 歯科衛生士による指導・処置を含む。

v) 学生精神科受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学 群 生	83	59	79	112	90	82	109	90	73	92	89	126	1,084
大 学 院 生	82	63	86	103	78	78	99	74	71	89	79	110	1,012
研 究 生 等	1	1	3	5	2		3	1	1	1	1	1	20
合 計	166	123	168	220	170	160	211	165	145	182	169	237	2,116

vi) 職員・その他

区分／ 科別内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本 学 職 員	5	4	11	14	9	8	144	112	65	19	15	14	420
そ の 他 の 外 来 者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	5	4	11	14	9	8	144	112	65	19	15	14	420

内 科	3	2	3	5	2	7	142	107	64	16	12	11	374
整 形 外 科	1	0	3	7	7	1	2	3	1	3	3	2	33
歯 科	0	1	2	0	0	0	0	2	0	0	0	1	6
精 神 科	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
外 科 処 置	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5

(注) その他の外来者とは、本学校内における公開講座，合宿の参加者，見学者などである。

(注) 精神科は，急患対応のみである。

2) 診療収入等

科別内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(円)
内 科	22,500	21,600	29,000	40,400	32,600	69,300	142,800	83,400	57,800	110,000	87,600	110,800	807,800
整 形 外 科	18,100	18,200	17,100	39,200	38,900	48,800	73,700	33,900	26,400	42,900	46,500	81,500	485,200
歯 科	8,200	8,800	19,500	17,000	9,600	10,800	12,200	15,900	13,300	15,800	19,900	24,900	175,900
精 神 科	306,500	223,000	300,000	341,500	298,500	273,000	371,500	288,500	270,500	332,000	314,000	442,500	3,761,500
そ の 他	4,500	0	1,500	9,000	2,000	8,000	1,031,000	653,000	372,500	5,000	500	8,000	2,095,000
合 計 (円)	359,800	271,600	367,100	447,100	381,600	409,900	1,631,200	1,074,700	740,500	505,700	468,500	667,700	7,325,400

(注) 診療収入等には、診療費、薬剤費、診断書等が含まれる。

(注) その他には、診察外の診断書、予防接種等が含まれる。

(参考：前年度の診療収入等)

科別内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(円)
内 科	58,500	165,900	148,300	150,200	76,400	84,500	175,400	159,100	134,800	191,600	143,000	130,900	1,618,600
整 形 外 科	36,800	77,500	77,900	91,200	51,300	53,700	97,800	61,400	85,800	74,800	55,500	64,400	828,100
歯 科	12,700	46,700	41,900	44,600	42,900	41,800	52,200	34,100	41,300	37,900	38,000	46,200	480,300
精 神 科	276,000	339,500	340,500	412,500	294,500	237,000	390,000	321,000	423,000	409,000	352,000	433,000	4,228,000
そ の 他	2,500	500	2,000	0	4,000	5,500	4,500	524,000	228,000	2,000	6,000	10,000	789,000
合 計 (円)	386,500	630,100	610,600	698,500	469,100	422,500	719,900	1,099,600	912,900	715,300	594,500	684,500	7,944,000

10. そ の 他

1) インフルエンザワクチン接種

対 象	接 種 数
学 生	402
職 員	416
計	818

2) H B s 抗原抗体検査

対 象	H B s 抗原検査数	H B s 抗体検査数
理療科教員養成施設学生	17	17
職 員	0	0
計	17	17

注：H B s 抗原抗体検査は、理療科教員養成施設所属の職員と学生（新入生）が対象である。

3) 臨床検査実施数

月	血 液	尿	心電図	超音波検査	腸内細菌検査	その他	合 計
4 月		2	1			1	4
5 月	1	2	3			1	7
6 月	6	9	6	1		7	29
7 月	3	5	9	1	2	2	22
8 月	2	3	3			4	12
9 月	8	11	11	1		13	44
10 月	11	28	10			22	71
11 月	5	15	5			12	37
12 月	3	15	3			11	32
1 月	12	19	13			18	62
2 月	8	18	8			17	51
3 月	9	22	13			23	67
合 計	68	149	85	3	2	131	438

4) エックス線写真撮影件数及び枚数

区分	学		生				職		員				合 計	
	一般撮影		デンタル		計		胸 部 その他		デンタル		計			
月	件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数
4	16	3	2	6	18	9	0	0	0	0	0	0	18	9
5	17	1	1	1	18	2	0	0	0	0	0	0	18	2
6	14	1	2	4	16	5	7	3	0	0	7	3	23	8
7	25	1	4	7	29	8	7	0	0	0	7	0	36	8
8	30	1	1	3	31	4	7	0	0	0	7	0	38	4
9	41	2	2	2	43	4	2	0	0	0	2	0	45	4
10	77	1	0	0	77	1	3	0	0	0	3	0	80	1
11	38	2	1	1	39	3	4	0	0	0	4	0	43	3
12	34	0	2	2	36	2	1	0	0	0	1	0	37	2
1	49	2	2	2	51	4	3	0	0	0	3	0	54	4
2	47	0	4	7	51	7	3	0	0	0	3	0	54	7
3	80	1	4	6	84	7	4	0	0	0	4	0	88	7
合計	468	15	25	41	493	56	41	3	0	0	41	3	534	59
学生定期健康診断撮影 2,427 名														
職員定期健康診断撮影 2,924 名														

5) 心理検査実施数

月	実 施 数
4	1
5	
6	1
7	4
8	
9	5
10	1
11	3
12	
1	4
2	
3	3
合 計	22

6) 処方箋発行枚数

月	発 行 数
令和2年4月	166
5月	112
6月	161
7月	209
8月	172
9月	148
10月	220
11月	158
12月	140
令和3年1月	185
2月	162
3月	235
合 計	2,068

7) 外部診療機関紹介状況

区分 \ 科分類	内科	整形外科	歯科	精神科	救急外来	その他	合計
学 群 生	11	17		28		43	99
大 学 院 生	19	8		23		27	77
研 究 生	2					2	4
学 生 合 計	32	25	0	51	0	72	180
職 員・そ の 他	14	2		2		8	26
合 計	46	27	0	53	0	80	206

注) 区分のその他とは、本学校内における公開講座、合宿の参加者、見学者などである。

8) 健康診断証明書等発行数

	センター発行	自動証明書発行 装置 発 行	合 計
学 群 生	187	1,838	2,025
大 学 院 生	199	1,590	1,789
研 究 生	13		13
職 員	6		6
そ の 他	3		3
合 計	408	3,428	3,836

(注) 自動証明発行装置は、学生定型書式のみ。
その他は、学振・特別研究員等である。

9) 救護活動

資料 No.	実施日	期間	行事等名称	救護班設置場所	利用 件数
1	4/5	1	入学式	保健管理センター	中止
2	5/16 ～ 17	2	春季スポーツデー	保健管理センター	中止
3	7/1 ～ 2	2	大学院博士課程入試（7月期）	保健管理センター	延期
4	7/11 ～ 12	2	学群編入学試験/帰国生徒特別入試（10月入学）	保健管理センター	延期/ 中止
5	8/22 ～ 23、 8/29 ～ 30	4	大学説明会	保健管理センター 春日キャンパス救護室	オン ライン
6	9/1 ～ 2	2	大学院博士課程入試（7月から延期）	保健管理センター	0
7	9/5 ～ 6	2	令和3年度学群編入学試験（7月から延期）	保健管理センター	0
8	10/13 ～ 10/22	8	大学院博士課程入試（8月から延期）	保健管理センター	0
9	10/15 ～ 26	10	学群AC入試・国際オリンピック特別入試・ 研究型人才入試・国際バカロレア特別入試	保健管理センター	0
10	11/6 ～ 8	3	学園祭	保健管理センター	中止
11	11/14 ～ 15	2	秋季スポーツデー	保健管理センター	中止
12	11/26 ～ 27	2	学群推薦入試	保健管理センター 体芸試験場救護室	0
13	12/11	1	学群編入学試験 追試験	第二試験場救護室	0
14	1/16 ～ 17	2	大学入学共通テスト	保健管理センター 各入試会場救護室	23
15	1/20	1	グローバル教育院入試	保健管理センター	0
16	1/30 ～ 31	2	大学入学共通テスト（追試験）	保健管理センター	0
17	1/29 ～ 2/3	4	大学院入試（2月期）	保健管理センター	0
18	2/25 ～ 26	2	個別学力検査等（前期日程） 学群編入学試験	保健管理センター 各入試会場救護室	14
19	3/12	1	個別学力検査等（後期日程）ZOOM活用 した救護	保健管理センター	0
20	3/22	1	個別学力検査等追試験（前期日程・後期日 程）	保健管理センター	オン ライン
21	3/25	1	卒業式	保健管理センター	0
合計		55	合計		37

10) 救急箱貸出数

月	貸 出 数
令和2年4月	0
5月	0
6月	0
7月	0
8月	0
9月	1
10月	0
11月	3
12月	1
令和3年1月	9
2月	8
3月	2
合 計	24

11) 医療安全教育研修

第1回 診療の安全に関する研修

1. 対 象 筑波大学附属病院職員等
2. 期 日 令和3年3月
3. 場 所 学内専用システム manaba
4. 参加人数 24名
5. 担 当 附属病院臨床医療管理部外
6. 内 容 医療事故防止に関する基本的事項

第2回 診療の安全に関する研修

1. 対 象 筑波大学附属病院職員等
2. 期 日 令和3年3月
3. 場 所 学内専用システム manaba
4. 参加人数 24名
5. 担 当 附属病院臨床医療管理部外
6. 内 容 真実を伝える – Bad News の伝え方 –
 - (1) 医療事故防止に関する基本事項
 - (2) 医療における対人支援と真実を伝えるコミュニケーション

11. 研 究 業 績

<原著論文>

1. Doki K, Kuga K, Aonuma K, Ieda M, Homma M: Utilizing physiologically based pharmacokinetic modeling to predict theoretically conceivable extreme elevation of serum flecainide concentration in an anuric hemodialysis patient with cirrhosis. *Eur J Clin Pharmacol.* 76:821-831, 2020.
2. Sato S, Sodeyama N, Matsuzaki A, Shiratori Y: Apathy symptoms induced by low-dose venlafaxine: Two cases. *Neuropsychopharmacol Rep.* 40:196-197, 2020.
3. Shiratori Y, Tachikawa H, Nemoto K, Ide M, Sodeyama N, Tamura T, Takahashi S, Hori T, Arai T: Visualizing the Process of Disaster Mental Health Services in the Joso Flood by Network Analyses of Emails. *Tohoku J Exp Med.* 252:121-131, 2020.
4. Midorikawa H, Tachikawa H, Nemoto K, Morita N, Shiratori Y, Endo Go, Taguchi T, Arai T: Mental health of gatekeepers may influence their own attitudes toward suicide: A questionnaire survey from a suicide-prevention gatekeeper training program. *Asian J Psychiatr.* 47:101842, 2020.
5. Fujii H, Sato W, Kimura Y, Matsuda H, Ota M, Maikusa N, Suzuki F, Amano K, Shin I, Yamamura T, Mori H, Sato S: Altered Structural Brain Networks Related to Adrenergic/Muscarinic Receptor Autoantibodies in Chronic Fatigue Syndrome. *J Neuroimaging.* 30:822-827, 2020.
6. Hidese S, Ota M, Matsuo J, Ishida I, Yokota Y, Hattori K, Yomogida Y, Kunugi H: Association between obesity and white matter microstructure impairments in patients with schizophrenia: A whole-brain magnetic resonance imaging study. *Schizophr Res.* 230:108-110, 2020.
7. Hidese S, Hattori K, Sasayama D, Tsumagari T, Miyakawa T, Matsumura R, Yokota Y, Ishida I, Matsuo J, Yoshida S, Ota M, Kunugi H: Cerebrospinal fluid neuroplasticity-associated protein levels in patients with psychiatric disorders: a multiplex immunoassay study. *Translational psychiatry.* 10:161, 2020.
8. Hidese S, Ota M, Matsuo J, Ishida I, Hiraishi M, Yokota Y, Hattori K, Yomogida Y, Kunugi H: Correlation Between the Wechsler Adult Intelligence Scale- 3rd Edition Metrics and Brain Structure in Healthy Individuals: A Whole-Brain Magnetic Resonance Imaging Study. *Front Hum Neurosci.* 14:211, 2020.
9. Sone D, Sato N, Shigemoto Y, Kimura Y, Maikusa N, Ota M, Foong J, Koepp M, Matsuda H: Disrupted White Matter Integrity and Structural Brain Networks in Temporal Lobe Epilepsy With and Without Interictal Psychosis. *Front Neurol.* 11:556569, 2020.
10. Ota M, Kanie A, Kobayashi Y, Nakajima A, Sato N, Horikoshi M: Pseudo-continuous arterial spin labeling MRI study of patients with obsessive-compulsive disorder. *Psychiatry Res. Neuroimaging.* 303:111124, 2020.
11. Ota M, Koshibe Y, Higashi S, Nemoto K, Tsukada E, Tamura M, Takahashi T, Arai T: Structural Brain Network Correlated with Reading Impairment in Alzheimer's Disease. *Dement Geriatr Cogn Disord.* 49:264-269, 2020.
12. Funayama T, Fujii K, Abe T, Kumagai H, Nagashima K, Miura K, Noguchi H, Mataka K, Shibao Y, Koda M, Yamazaki M: Spontaneous symptomatic lumbar intervertebral pseudoarthrosis associated with diffuse

- idiopathic skeletal hyperostosis treated with a combined posteroanterior fusion: a case report and review of literature. *J Spine Surg.* 6:626-630, 2020.
13. Funayama T, Mataki K, Abe T, Noguchi H, Miura K, Kumagai H, Nagashima K, Shibao Y, Sato K, Koda M, Yamazaki M: Thoracic Myelopathy Caused by Ossification of the Yellow Ligament as a Distal Adjacent Segmental Disease after Posterior Cervical-Middle Thoracic Fusion Surgery. *Case Rep Orthop.* 2020:7101496, 2020.
 14. Funayama T, Noguchi H, Kumagai H, Yoshioka T, Yamazaki M: A Novel Unidirectional Porous β -tricalcium Phosphate Bone Substitute in Orthopedic Surgery: A Technical Note and Case Illustrations. *Cureus.* 12(3):e7465, 2020.
 15. Mataki K, Koda M, Shibao Y, Kumagai H, Nagashima K, Miura K, Noguchi H, Funayama T, Abe T, Yamazaki M: Spina Bifida Occulta with Bilateral Spondylolysis at the Thoracolumbar Junction Presenting Cauda Equina Syndrome. *Case Rep Orthop.* 2020:2425637, 2020.
 16. Mataki K, Koda M, Shibao Y, Kumagai H, Nagashima K, Miura K, Noguchi H, Funayama T, Abe T, Yamazaki M: New methods for diagnosing lumbar foraminal stenosis using dynamic digital tomosynthesis radiculography. *J Clin Neurosci.* 77:106-109, 2020.
 17. Miura K, Kadone H, Koda M, Abe T, Funayama T, Noguchi H, Mataki K, Nagashima K, Kumagai H, Shibao Y, Suzuki K, Yamazaki M: Thoracic kyphosis and pelvic anteversion in patients with adult spinal deformity increase while walking: analyses of dynamic alignment change using a three-dimensional gait motion analysis system. *Eur Spine J.* 29:840-848, 2020.
 18. Miura K, Koda M, Abe T, Kono M, Eto F, Kumagai H, Nagashima K, Fujii K, Noguchi H, Funayama T, Yamazaki M: Comparison of clinical results of decompression/fusion surgery for paralysis caused by metastatic spinal tumors of unknown versus known origin. *J Rural Med.* 15:189-193, 2020.
 19. Miura K, Koda M, Abe T, Funayama T, Noguchi H, Kumagai H, Nagashima K, Mataki K, Shibao Y, Yamazaki M: Thoracic myelopathy caused by calcification of the ligamentum flavum. *J Rural Med.* 15: 65-67, 2020.
 20. Miura K, Koda M, Funayama T, Takahashi H, Yamazaki M: Sarcopenic dysphagia after occipito-cervical fusion surgery in an elderly patient with high-cervical myelopathy caused by retro-odontoid pseudotumor: a case report. *Cureus.* 12:e11881, 2020.
 21. Sato K, Kumagai H, Funayama T, Yoshioka T, Shibao Y, Mataki K, Nagashima K, Miura K, Noguchi H, Abe T, Koda M, Yamazaki M: Posterolateral lumbar spine fusion with unidirectional porous beta-tricalcium phosphate in a canine model. *J Artif Organs.* 23:365-370, 2020.
 22. Hasegawa N, Endo M, Terasaki M: Crush and removal of biliary stones by peroral direct cholangioscopy and W-shaped grasping forceps after hepaticojejunostomy. *Dig Endosc.* 32:e153-e154, 2020.
 23. Hirose S, Hasegawa N, Mizokami Y: Cholesterosis of the common bile duct successfully diagnosed macroscopically and histologically using the transpapillary approach. *Dig Endosc.* 32:1113, 2020.
 24. Hirose S, Hasegawa N, Kawai H, Yamaura M, Mizui T, Komatsu Y, Nagase M, Sato M, Hattori J, Endo M, Yamamoto Y, Ishige K, Fukuda K, Hyodo I, Mizokami Y: Mediastinal Neuroendocrine Carcinoma

- Slowly Growing for 8 Years after Surgical Resection of Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *Intern Med.* 59:2505-2509, 2020.
25. Hirose S, Ishige K, Yamaura M, Mizui T, Komatsu Y, Nagase M, Sato M, Hattori J, Endo M, Hasegawa N, Fukuda K, Hyodo I: A case report: Long-term complete response of metastatic hepatocellular carcinoma obtained after discontinuation of 2-month sorafenib monotherapy. *Clin J Gastroenterol.* 13:902-906, 2020.
 26. Hasegawa N, Ito Y, Yamaura M, Endo M, Ishige K, Fukuda K, Hyodo I, Mizokami Y: Splenic rupture caused by pancreatic pseudocyst successfully treated by endoscopic ultrasound-guided drainage. *Clin J Gastroenterol.* 13:981-984, 2020.
 27. Hasegawa N, Yamaguchi Y, Hattori J, Endo M, Ishige K, Fukuda K, Hyodo I, Mizokami Y: A case of pancreatic-pleural fistula of Type 1 autoimmune pancreatitis successfully treated with pancreatic drainage and steroid. *Clin J Gastroenterol.* 13:946-950, 2020.
 28. Shigemasa R, Masuko H, Hyodo K, Kitazawa H, Kanazawa J, Yatagai Y, Iijima H, Naito T, Saito T, Hirota T, Tamari M, Sakamoto T, Hizawa N: Genetic impact of CDHR3 on the adult onset of asthma and COPD. *Clin Exp Allergy.* 50:1223-1229, 2020.
 29. Takahashi A, Tachikawa H, Morita N, Aiba M, Shiratori Y, Nemoto K, Arai T: Suicide Prevention Gatekeeper Self-Efficacy Scale (GKSES). *Crisis.* 42:128-135, 2021.
 30. Matsuo J, Hori H, Ishida I, Hiraishi M, Ota M, Hidese S, Yomogida Y, Kunugi H: Performance on the Wechsler Adult Intelligence Scale (WAIS) in Japanese patients with bipolar and major depressive disorders in euthymic and depressed states. *Psychiatry Clin Neurosci.* 75:128-137, 2021.
 31. Ota M, Noda T, Sato N, Hidese S, Teraishi T, Matsuda H, Kunugi H. Structural brain network differences in bipolar disorder using with similarity-based approach. *Acta Neuropsychiatr.* 33:121-125, 2021.
 32. Yamada Y, Shinkawa K, Kobayashi M, Nishimura M, Nemoto M, Tsukada E, Ota M, Nemoto K, Arai T: Tablet-Based Automatic Assessment for Early Detection of Alzheimer's Disease Using Speech Responses to Daily Life Questions. *Front. Digit. Health.* 2021. DOI:10.3389/fdgth.2021.653904
 33. Hidese S, Hattori K, Sasayama D, Tsumagari T, Miyakawa T, Matsumura R, Yokota Y, Ishida I, Matsuo J, Yoshida S, Ota M, Kunugi H: Cerebrospinal Fluid Inflammatory Cytokine Levels in Patients With Major Psychiatric Disorders: A Multiplex Immunoassay Study. *Front Pharmacol.* 11:594394, 2021.
 34. Merritt K, McGuire PK, Egerton A; 1H-MRS in Schizophrenia Investigators, Aleman A, Block W, Bloemen OJN, Borgan F, Bustillo JR, Capizzano AA, Coughlin JM, De la Fuente-Sandoval C, Demjaha A, Dempster K, Do KQ, Du F, Falkai P, Galinska-Skok B, Gallinat J, Gasparovic C, Ginestet CE, Goto N, Graff-Guerrero A, Ho BC, Howes OD, Jauhar S, Jeon P, Kato T, Kaufmann CA, Kegeles LS, Keshavan M, Kim SY, Kunugi H, Lauriello J, Liemburg EJ, McIlwain ME, Modinos G, Mouchlianitis ED, Nakamura J, Nenadic I, Öngür D, Ota M, Palaniyappan L, Pantelis C, Plitman E, Posporelis S, Purdon SE, Reichenbach JR, Renshaw PF, Russell BR, Sawa A, Schaefer M, Shungu DC, Smesny S, Stanley JA, Stone JM, Szulc A, Taylor R, Thakkar K, Théberge J, Tibbo PG, van Amelsvoort T, Walecki J, Williamson PC, Wood SJ, Xin L, Yamasue H: Association of Age, Antipsychotic Medication, and Symptom Severity

- in Schizophrenia With Proton Magnetic Resonance Spectroscopy Brain Glutamate Level: A Meta-analysis of Individual Participant-Level Data. *JAMA Psychiatry*. 78:667-681, 2021.
35. Funayama T, Tsukanishi T, Fujii K, Abe T, Shibao Y, Noguchi H, Miura K, Mataki K, Takahashi H, Koda M, Yamazaki M: Characteristic imaging findings predicting the risk of conservative treatment resistance in fresh osteoporotic vertebral fractures with poor prognostic features on magnetic resonance imaging. *J Orthop Sci*. 2021:S0949-2658(21)00041-5, 2021.
 36. Ikumi A, Funayama T, Terajima S, Matsuura S, Yamaji A, Nogami Y, Okuwaki S, Kawamura H, Yamazaki M: Effects of conservative treatment of 2-week rigorous bed rest on muscle disuse atrophy in osteoporotic vertebral fracture patients. *J Rural Med*. 16:8-13, 2021.
 37. Shibao Y, Koda M, Nakayama K, Asada T, Sato K, Kono M, Eto F, Mataki K, Kumagai H, Nagashima K, Miura K, Noguchi H, Takahashi H, Funayama T, Abe T, Yamazaki M: A case of cardiac arrest during C1 laminectomy for irreducible atlantoaxial subluxation. *Case Rep Orthop*. 2021:6691426, 2021..
 38. Takahashi H, Aoki Y, Inoue M, Saito J, Nakajima A, Sonobe M, Akatsu Y, Koyama K, Shiga Y, Inage K, Eguchi Y, Orita S, Maki S, Furuya T, Akazawa T, Abe T, Funayama T, Noguchi H, Miura K, Mataki K, Shibao Y, Eto F, Kono M, Koda M, Yamazaki M, Otori S, Nakagawa K: Characteristics of relief and residual low back pain after discectomy in patients with lumbar disc herniation: analysis using a detailed visual analog scale. *BMC Musculoskelet Disord*. 22:167, 2021.
 39. Shimizu T, Koda M, Abe T, Shibao Y, Kono M, Eto F, Miura K, Mataki K, Noguchi H, Takahashi H, Funayama T, Yamazaki M: Correction between osteoarthritis of the atlantoaxial facet joint and a high-riding vertebral artery. *BMC Musculoskelet Disord*. 22:406, 2021.
 40. Mataki K, Koda M, Funayama T, Takahashi H, Yamazaki M: Sudden, transient intraoperative hypotension during the use of the cantilever technique for correction of adult spine deformity. *Cureus* 13:e13835, 2021.
 41. Kitazawa H, Masuko H, Kanazawa J, Shigemasa R, Hyodo K, Yamada H, Yatagai Y, Kaneko Y, Iijima H, Naito T, Saito T, Noguchi E, Konno S, Hirota T, Tamari M, Sakamoto T, Hizawa N: ORMDL3/GSDMB Genotype as a Risk Factor for Early-Onset Adult Asthma Is Linked to Total Serum IgE Levels but Not to Allergic Sensitization. *Allergol Int*. 70:55-60, 2021.
 42. 清水知明, 安部哲哉, 熊谷 洋, 柴尾洋介, 俣木健太郎, 三浦紘世, 野口裕史, 竹内陽介, 船山 徹, 國府田正雄, 山崎正志: 頸椎ダンベル型腫瘍の術後に経験したremote cerebellar hemorrhageの2例. *臨床整形外科*. 55:977-981, 2020.
 43. 船山 徹, 俣木健太郎, 佐藤康介, 三浦紘世, 安部哲哉, 野口裕史, 長島克弥, 柴尾洋介, 熊谷 洋, 國府田正雄, 山崎正志: 骨粗鬆症性腰椎椎体骨折後圧潰に対する前後合併固定術後早期にインプラント脱転を生じたパーキンソン病の一例. *J Spine Res*. 11:1252-58, 2020.
 44. 船山 徹, 安部哲哉, 野口裕史, 三浦紘世, 國府田正雄, 山崎正志. 経皮的椎弓根スクリューを使用した椎体形成併用後方固定術における術前の脊椎不安定性を指標にした術後の矯正損失量予測. *別冊整形外科*. 78:97-101, 2020.
 45. 福田壮馬, 遠藤壮登, 福田邦明, 辻 実季, 小野田翼, 丹下善隆, 新里悠輔, 寺崎正彦, 長谷川直之, 橋本諒典, 湯口 周, 野口雅之, 溝上 裕士: 直視下生検で診断し得た肝細胞癌胆管腫

瘍栓の1例. *Progress of Digestive Endoscopy* 97:136-138, 2020.

<総説>

1. 國府田正雄, 安部哲哉, 船山 徹, 高橋宏, 野口裕史, 三浦紘世, 俣木健太郎, 柴尾洋介, 河野 衛, 江藤文彦, 山崎正志: 頸椎OPLLに対する手術: 後方法の立場から. *臨床整外外科*. 55:779-784, 2020.
2. 船山 徹, 安部哲哉, 柴尾洋介, 長島克弥, 國府田正雄, 山崎正志: 急性期新鮮骨粗鬆症性椎体骨折に対する入院安静療法の効果. *整・災外*. 63:147-55, 2020.
3. 久賀圭祐: 学校心臓検診の課題. *医学のあゆみ*. 276:1195-1197, 2021.

<著書>

1. Yamazaki M, Abe T, Funayama T, Takahashi H, Maki S, Furuya T, Koda M. Diagnosis of OPLL and OLF: Overview. In: Okawa K, Matsumoto M, Iwasaki M, Kawaguchi Y (eds), *OPLL: Ossification of the posterior longitudinal ligament (3rd edition)*, pp101-112, Springer, Singapore, 2020.
2. Koda M, Abe T, Furuya T, Funayama T, Takahashi H, Noguchi H, Miura K, Nagashima K, Shibao Y, Yamazaki M: Posterior decompression and fusion for cervical OPLL: indication and technique. In: Okawa K, Matsumoto M, Iwasaki M, Kawaguchi Y (eds), *OPLL: Ossification of the posterior longitudinal ligament (3rd edition)*, pp193-199, Springer, Singapore, 2020

<学会発表>

1. Fujii K, Koda M, Saito J, Abe T, Funayama T, Noguchi N, Miura K, Nagashima K, Mataka K, Shibao Y, Furuya T, Yamazaki M: Segmental instrumented fusion with laminoplasty for cervical OPLL with K-line (+) / large segmental motion - retrospective analysis compared with laminoplasty without segmental fusion. 35th Annual Meeting of the Cervical Spine Research Society European Section (Rome, Italy), May 2019.
2. Kitazawa H, Masuko H, Shigemasa R, Hyodo K, Kanazawa J, Yamada H, Yatagai Y, Iijima H, Naito T, Saito T, Konno S, Hirota T, Tamari M, Sakamoto T, Hizawa N: ORMDL3/GSDMB Genotype as a Risk Factor for Early-Onset Adult Asthma Is Linked to Total Serum IgE Levels but Not to Atopy. American Thoracic Society Conference 2020 (Philadelphia, PA, USA), May 2020.
3. Shigemasa R, Masuko H, Hyodo K, Kitazawa H, Kanazawa J, Iijima H, Naito T, Saito T, Hirota T, Tamari M, Sakamoto T, Hizawa N: Genetic Impact of CDHR3 on the Adult Onset of Chronic Inflammatory Airway Diseases. American Thoracic Society Conference 2020 (Philadelphia, PA, USA), May 2020.
4. Hyodo K, Masuko H, Oshima H, Shigemasa R, Kitazawa H, Kanazawa J, Iijima H, Kodama T, Nomura A, Kagohashi K, Sato H, Saito T, Sakamoto T, Hizawa N: Exacerbation Clusters Demonstrate Asthma and Chronic Obstructive Pulmonary Disease Overlap with Distinct Phenotypes. American Thoracic Society Conference 2020 (Philadelphia, PA, USA), May 2020.
5. Shinkawa K, Kosugi A, Kobayashi M, Nishimura M, Nemoto N, Tsukada E, Ota M, Nemoto K, Arai T,

- Yamada Y: Automatic Detection of Alzheimer's Disease and Mild Cognitive Impairment from Spontaneous Speech Collected during Tablet-Based Interviews: A Preliminary Result. Alzheimer's Association International Conference (AAIC) (Amsterdam, Netherlands), July 2020.
6. Yamada Y, Shinkawa K, Ishikawa T, Nishimura M, Nemoto M, Tsukada E, Ota M, Nemoto K, Arai T: A Multimodal Behavioral Analysis for Early Detection of Alzheimer's Disease: A Preliminary Result. AAIC, (Amsterdam, Netherlands), July 2020.
 7. Shigema R, Masuko H, Hyodo K, Kitazawa H, Kanazawa J, Yatagai Y, Iijima H, Naito T, Saito T, Hirota T, Tamari M, Sakamoto T, Hizawa N: Genetic impact of CDHR3 on the adult-onset of asthma and COPD. JSA/WAO XXVII World Allergy Congress (WAC2020) conjoint with the APAPARI 2020 Congress (Kyoto, Japan), September 2020.
 8. Kitazawa H, Masuko H, Kanazawa J, Shigema R, Hyodo K, Yamada H, Yatagai Y, Kaneko Y, Iijima H, Naito T, Saito T, Noguchi E, Konno S, Hirota T, Tamari M, Sakamoto T, Hizawa N: ORMDL3/GSDMB genotype as a risk factor for early-onset adult asthma is linked to total serum IgE levels but not to allergic sensitization. JSA/WAO XXVII World Allergy Congress (WAC2020) conjoint with the APAPARI 2020 Congress (Kyoto, Japan), September 2020.
 9. Nakajima M, Matsuyama M, Kawaguchi M, Kitazawa H, Arai N, Shigemasa R, Yoshida K, Hyodo K, Yamada H, Masuko H, Kiwamoto T, Morishima Y, Ishii Y, Sakamoto T, Saito T, Hizawa N: Whole blood gene expression profiling in severe asthma patients treated with benralizumab. JSA/WAO XXVII World Allergy Congress (WAC2020) conjoint with the APAPARI 2020 Congress (Kyoto, Japan), September 2020.
 10. Hyodo K, Masuko H, Oshima H, Shigemasa R, Kitazawa H, Kanazawa J, Iijima H, Kodama T, Nomura A, Kagohashi K, Sato H, Saito T, Sakamoto T, Hizawa N: Exacerbation clusters demonstrate asthma and Chronic Obstructive Pulmonary Disease (COPD) overlap with distinct phenotypes. JSA/WAO XXVII World Allergy Congress (WAC2020) conjoint with the APAPARI 2020 Congress (Kyoto, Japan), September 2020.
 11. 藤井賢吾, 船山 徹, 塚西敏則, 長島克弥, 熊谷 洋, 三浦紘世, 野口裕史, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: PLIFにおいてL5/S1レベルは他のレベルと異なる癒合プロセスを持つか? CT再構成画像を用いた術後画像の解析. 第49回日本脊椎脊髄病学会(名古屋市)(ハイブリッド), 4月, 2020.
 12. 辻 実季, 遠藤壮登, 長谷川直之, 寺崎正彦, 丹下義隆, 萩原悠也, 福田智史, 溝上裕士: 腭仮性嚢胞-門脈瘻に対し内視鏡治療が有効であった一例. 第362回日本消化器病学会関東支部例会(東京), 4月, 2020.
 13. 福田壮馬, 遠藤壮登, 福田邦明, 伊藤嘉美, 小野田翼, 鈴木宏清, 杉山雄太郎, 永渕美帆, 廣瀬 優, 新里悠輔, 池田貴文, 長谷川直之, 石毛和紀, 溝上裕士: 胆道出血の出血源同定に苦慮し, 経口胆道鏡で診断に至った肝細胞癌による胆管内腫瘍栓の一例. 第110回日本消化器内視鏡学会関東支部例会(オンライン), 5月, 2020.
 14. 武石岳大, 蔵本健矢, 松山政史, 松田峰史, 松村聡介, 野中 水, 塩澤利博, 中澤健介, 増子

- 裕典, 小川良子, 際本拓未, 松野洋輔, 森島祐子, 坂本 透, 檜澤伸之: 閉塞型睡眠時無呼吸による肺出血の1例. 第239回日本呼吸器学会関東地方会(誌上開催), 5月, 2020.
15. 熊谷 洋, 船山 徹, 佐藤康介, 柴尾洋介, 俣木健太郎, 長島克弥, 三浦紘世, 野口裕史, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: 配孔連通孔構造を有する β -リン酸三カルシウム人工骨の骨新生にテリパラチド投与が及ぼす影響. 第93回日本整形外科学会学術集会(オンライン), 6-8月, 2020.
 16. 柴尾洋介, 安部哲哉, 長島克弥, 俣木健太郎, 熊谷 洋, 三浦紘世, 天野国明, 野口裕史, 船山 徹, 國府田正雄, 山崎正志: LIF cageを使用した腰椎側方椎体間固定時のALL損傷と術前椎体間距離の関係. 第93回日本整形外科学会学術総会(オンライン), 6-8月, 2020.
 17. 野口裕史, 船山 徹, 佐藤康介, 熊谷 洋, 柴尾洋介, 俣木健太郎, 長嶋克弥, 三浦紘世, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: イヌ腰椎後側方固定モデルを用いた自家骨と β -TCPの混合比と骨癒合の検討. 第93回日本整形外科学会学術総会(オンライン), 6-8月, 2020.
 18. 船山 徹, 安部哲哉, 柴尾洋介, 長島克弥, 野口裕史, 三浦紘世, 俣木健太郎, 國府田正雄, 山崎正志: 新鮮骨粗鬆症性椎体骨折における保存治療抵抗例の画像的特徴 ~ CTと単純X線動態撮影の重要性~. 第93回日本整形外科学会学術総会(オンライン), 6-8月, 2020.
 19. 俣木健太郎, 國府田正雄, 柴尾洋介, 熊谷 洋, 長島克弥, 三浦紘世, 野口裕史, 高橋 宏, 船山 徹, 安部哲哉, 山崎正志: トモシンセシス神経根造影動態撮影を用いた腰椎椎間孔狭窄の新たな画像評価法. 第93回日本整形外科学会学術総会(オンライン), 6-8月, 2020.
 20. 三浦紘世, 門根秀樹, 柴尾洋介, 熊谷 洋, 長島克弥, 俣木健太郎, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: 首下がりに対する三次元歩行動作解析を用いたアライメントの動的評価. 第93回日本整形外科学会学術総会(オンライン), 6-8月, 2020.
 21. 三浦紘世, 門根秀樹, 柴尾洋介, 熊谷 洋, 長島克弥, 俣木健太郎, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: 成人脊柱変形における歩行による脊椎矢状面バランスの悪化と背筋群の脂肪浸潤との関係-三次元歩行動作解析を用いた歩行解析-. 第93回日本整形外科学会学術総会(オンライン), 6-8月, 2020.
 22. 安富元彦, 松村聡介, 塩澤利博, 松田峰史, 酒井千緒, 藪内悠貴, 松山政史, 中澤健介, 増子裕典, 小川良子, 際本拓未, 松野洋輔, 森島祐子, 坂本 透, 家城隆次, 檜澤伸之, 鈴木敏夫, 関根郁夫: オシメルチニブによる薬剤性肺障害を来した症例の検討. 第240回日本呼吸器学会関東地方会(誌上開催), 7月, 2020.
 23. 楊川堯基, 平山 暁, 金子洋子, 間瀬かおり, 多留賀功, 松永恒明, 塚原知樹, 石井龍太, 樋口貴士: ESA製剤非投与維持透析患者における生体内エリスロポエチン産生の検討. 第63回日本腎臓学会学術総会(横浜), 8月, 2020.
 24. 星合壮大, 入江敏之, 森 健作, 福田邦明, 石毛和紀, 長谷川直之, 高橋信幸, 新井弘隆, 森 耕一, 古西崇寛, 菊地俊介, 武井洋平, 吉田美貴, 増本智彦: シスプラチン溶液と破碎ゼラチン粒の繰り返し動注によるTACE: Up-to 7基準外の肝細胞癌に対する成績. 第49回日本IVR学会総会(兵庫), 8月, 2020.
 25. 國府田正雄, 安部哲哉, 船山 徹, 高橋 宏, 野口裕史, 三浦紘世, 山崎正志, 古矢丈雄,

- 牧 聡：頸椎転移例に対する手術治療成績と合併症（シンポジウム）。第53回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会（オンライン），9月，2020.
26. 熊谷 洋，佐藤康介，船山 徹，柴尾洋介，俣木健太郎，長島克弥，三浦紘世，野口裕史，安部哲哉，國府田正雄，山崎正志：配向連通孔構造を有する β -リン酸三カルシウム人工骨と自家骨の混合比が骨癒合に及ぼす影響－イヌ腰椎後側方固定モデルを用いた検討。第49回日本脊椎脊髓病学会学術集会（神戸市）（ハイブリッド），9月，2020.
27. 船山 徹，安部哲哉，辰村正紀，藤井賢吾，江藤文彦，柴尾洋介，長島克弥，熊谷 洋，三浦紘世，俣木健太郎，野口裕史，國府田正雄，山崎正志：新鮮骨粗鬆症性椎体骨折に対する初期の入院床上安静による椎体圧潰の進行予防効果。第49回日本脊椎脊髓病学会学術集会（神戸市）（ハイブリッド），9月，2020.
28. 船山 徹，安部哲哉，柴尾洋介，長島克弥，熊谷 洋，三浦紘世，俣木健太郎，野口裕史，國府田正雄，山崎正志：骨粗鬆症性椎体骨折におけるX線動態撮影による不安定性評価は椎体形成併用後方固定術後の矯正損失量を予測できる。第49回日本脊椎脊髓病学会学術集会（神戸市）（ハイブリッド），9月，2020.
29. 俣木健太郎，國府田正雄，柴尾洋介，熊谷 洋，長島克弥，三浦紘世，野口裕史，高橋 宏，船山 徹，安部哲哉，山崎正志：トモシンセシス神経根造影動態撮影を用いた腰椎椎間孔狭窄の新たな画像評価法。第49回日本脊椎脊髓病学会学術集会（神戸市）（ハイブリッド），9月，2020.
30. 三浦紘世，門根秀樹，柴尾洋介，熊谷 洋，長島克弥，俣木健太郎，野口裕史，船山 徹，安部哲哉，國府田正雄，山崎正志：首下がりに対する三次元歩行動作解析を用いた脊椎アライメントの動的評価と静的アライメントとの関連。第49回日本脊椎脊髓病学会学術集会（神戸市）（ハイブリッド），9月，2020.
31. 三浦紘世，門根秀樹，柴尾洋介，熊谷 洋，長島克弥，俣木健太郎，野口裕史，船山 徹，安部哲哉，國府田正雄，山崎正志：成人脊柱変形における歩行による脊椎矢状面バランスの悪化と背筋群の脂肪浸潤との関係－三次元歩行動作解析を用いた歩行解析－。第49回日本脊椎脊髓病学会学術集会（神戸市）（ハイブリッド），9月，2020.
32. 坂下孝太郎，三浦紘世，河野 衛，江藤文彦，野口裕史，高橋 宏，船山 徹，安部哲哉，國府田正雄，山崎正志：転移性脊椎腫瘍に対するリエゾン治療が生命予後に与える可能性。第69回東日本整形災害外科学会（オンライン）9月，2020.
33. 廣瀬 優，長谷川直之，遠藤壮登，石毛和紀，福田邦明，溝上裕士：内視鏡治療困難な胃静脈瘤に対する経皮経肝静脈瘤塞栓術（PTO）の検討。第99回日本消化器内視鏡学会総会（京都），9月，2020.
34. 福田智史，福田邦明，小松義希，稲葉康記，萩原悠也，山浦正道，遠藤壮登，山本祥之，長谷川直之，溝上裕士：慢性膵炎，膵石症の経過中に膵管炎による敗血症性ショックを来した一例。第361回日本消化器病学会関東支部例会（東京），9月，2020.
35. 北沢晴奈，増子裕典，重政理恵，兵頭健太郎，金澤 潤，谷田貝洋平，金子美子，飯島弘晃，内藤隆志，齋藤武文，広田朝光，玉利真由美，坂本 透，檜澤伸之：ORMDL3/GSDMB 遺伝子

- 多型が成人喘息に与える影響. 第60回日本呼吸器学会学術講演会（オンライン），9月，2020.
36. 古川善寛，増子裕典，重政理恵，大島央之，兵頭健太郎，北澤晴奈，金澤 潤，飯島弘晃，内藤隆志，齋藤武文，坂本 透，檜澤伸之：テロメア長関連遺伝子と健常者肺機能についての検討. 第60回日本呼吸器学会学術講演会（オンライン），9月，2020.
37. 重政理恵，増子裕典，大島央之，兵頭健太郎，北澤晴奈，金澤 潤，飯島弘晃，内藤隆志，齋藤武文，坂本 透，檜澤伸之：中高年での新規喘息発症リスクの検討. 第60回日本呼吸器学会学術講演会（オンライン），9月，2020.
38. 中嶋真之，松山政史，川口未央，Sherpa Mingma，大澤 翔，矢崎 海，吉田和史，塩澤利博，中澤健介，増子裕典，小川良子，際本拓未，松野洋輔，森島祐子，坂本 透，石井幸雄，檜澤伸之：マウスを用いた肺MAC感染モデルにおけるNrf2の役割. 第60回日本呼吸器学会学術講演会（オンライン），9月，2020.
39. 嶋田貴文，飯島弘晃，望月美美，藤原啓司，石川博一，内藤隆志，重政理恵，北澤晴奈，増子裕典，坂本 透，田辺直也，佐藤 晋，室 繁郎，檜澤伸之：健診受診健常者におけるObstructive Index値に関する検討. 第60回日本呼吸器学会学術講演会（オンライン），9月，2020.
40. 小松雄樹，野上昭彦，市原 登，木全 啓，太田千尋，服部正幸，下尾 知，Qasim Jabbar Naeemah，Wipat Phanthawimol，町野 毅，山崎 浩，五十嵐 都，久賀圭祐，青沼和隆，家田真樹：大心静脈からの左室ペーシングによりDeceleration Zoneが明らかとなり心室頻拍の抑制に成功した陳旧性心筋梗塞の1例. 臨床心臓電気生理研究会（東京），10月，2020.
41. 太田深秀：認知症に移行しない軽度認知機能障害の脳形態変化について. 第44回日本神経心理学会（福島），10月，2020.
42. 北畠綾子，太田深秀，沼田悠梨子：軽度認知機能障害から認知症へのconvertにともなう認知機能の推移について. 第44回日本神経心理学会（福島），10月，2020.
43. 江藤文彦，辰村正紀，長島克弥，三浦紘世，野口裕史，船山 徹，安部哲哉，國府田正雄，山崎正志：特発性脊髄硬膜外血腫の高位別による形態的特徴. 第35回日本整形外科学会基礎学術集会（オンライン），10月，2020.
44. 俣木健太郎，國府田正雄，柴尾洋介，熊谷 洋，長島克弥，三浦紘世，野口裕史，高橋 宏，船山 徹，安部哲哉，山崎正志：トモシンセシス神経根造影動態撮影を用いた腰椎椎間孔狭窄の新たな画像評価法. 第35回日本整形外科学会基礎学術集会（東京）（オンライン），10月，2020.
45. 俣木健太郎，原 友紀，野口裕史，岡野英里子，長島克弥，三浦紘世，高橋 宏，船山 徹，安部哲哉，國府田正雄，山崎正志：トモシンセシスを使用した脊椎椎弓根スクリューの弛みの定量的評価法の開発. 第35回日本整形外科学会基礎学術集会（東京）（オンライン），10月，2020.
46. 三浦紘世，門根秀樹，柴尾洋介，熊谷 洋，長島克弥，俣木健太郎，野口裕史，船山 徹，安部哲哉，國府田正雄，山崎正志：成人脊柱変形における連続歩行時の脊椎矢状面バランスと骨盤・下肢関節による代償の動態評価 - 三次元動作解析を用いた歩行解析 - . 第35回日本整形外

科学会基礎学術集会（東京）（オンライン），10月，2020.

47. 三浦紘世，門根秀樹，柴尾洋介，熊谷 洋，長島克弥，俣木健太郎，野口裕史，船山 徹，安部哲哉，國府田正雄，山崎正志：首下がり症候群に対する三次元動作解析を用いた脊椎アライメントの歩行時動的評価と静的アライメントとの関連．第35回日本整形外科学会基礎学術集会（東京）（オンライン），10月，2020.
48. 安部哲哉，熊谷 洋，江藤文彦，柴尾洋介，河野 衛，浮田悠里，俣木健太郎，三浦紘世，高橋 宏，野口裕史，船山 徹，國府田正雄，山崎正志：側方椎体間固定術後の腹壁筋麻痺の発生は内腹斜筋の温存で減少する．第29回日本脊椎インストゥルメンテーション学会（オンライン）10月，2020.
49. 安部哲哉，三浦紘世，柴尾洋介，河野 衛，江藤文彦，浮田悠里，俣木健太郎，高橋 宏，野口裕史，船山 徹，國府田正雄，山崎正志：胸椎後縦靱帯骨化症に対する後方除圧固定術におけるCTでの胸椎アライメント変化と脊髄症改善の関連．第29回日本脊椎インストゥルメンテーション学会（オンライン）10月，2020.
50. 伊藤弘樹，辰村正紀，江藤文彦，長島克弥，堤 亮介，船山 徹，山崎正志：L5/S1の腰椎後方椎体間固定術におけるexpandable cageとボックス型PEEK cageの矯正角度の比較．第29回日本脊椎インストゥルメンテーション学会（オンライン）10月，2020.
51. 江藤文彦，辰村正紀，伊藤弘樹，堤 亮介，長島克弥，船山 徹，山崎正志：楔状変形が強い椎間に対するLIFによる冠状面矯正のCT評価．第29回日本脊椎インストゥルメンテーション学会（オンライン）10月，2020.
52. 江藤文彦，安部哲哉，柴尾洋介，河野 衛，俣木健太郎，三浦紘世，野口裕史，高橋 宏，船山 徹，國府田正雄，山崎正志：脊椎ロッド2本による長範囲脊椎固定術後のロッド折損の特徴．第29回日本脊椎インストゥルメンテーション学会（オンライン）10月，2020.
53. 蒲田久典，國府田正雄，椎名逸雄，江藤文彦，河野 衛，柴尾洋介，俣木健太郎，三浦紘世，野口裕史，高橋 宏，船山 徹，安部哲哉，山崎正志：Penetrating Endplate ScrewをDoubleにするための至適刺入軌道の検討．第29回日本脊椎インストゥルメンテーション学会（オンライン）10月，2020.
54. 熊谷 洋，辰村正紀，船山 徹，柴尾洋介，俣木健太郎，長島克弥，三浦紘世，野口裕史，安部哲哉，國府田正雄，山崎正志：腸骨に移植した配孔連通孔構造を有する β -リン酸三カルシウム人工骨の材料吸収と骨新生の検討．第29回日本脊椎インストゥルメンテーション学会（オンライン）10月，2020.
55. 熊谷 洋，辰村正紀，船山 徹，野口裕史，山崎正志：分離部修復術における採骨部に移植した配孔連通孔構造を有する β -リン酸三カルシウム人工骨の材料吸収と骨新生の検討．第29回日本脊椎インストゥルメンテーション学会（オンライン）10月，2020.
56. 河野 衛，國府田正雄，長島克弥，江藤文彦，柴尾洋介，俣木健太郎，三浦紘世，野口裕史，安部哲哉，船山 徹，高橋 宏，牧 聡，萬納寺誓人，古矢丈雄，山崎正志：頸椎長範囲後方固定においてC6へのparavertebral foramen screw (PVFS) 脂溶は固定最尾側椎体 (LIV) のImplant failureを軽減させる．第29回日本脊椎インストゥルメンテーション学会（オンライン）

10月, 2020.

57. 柴尾洋介, 安部哲哉, 河野 衛, 江藤文彦, 浮田悠里, 俣木健太郎, 三浦紘世, 野口裕史, 高橋 宏, 船山 徹, 國府田正雄, 山崎正志: 脊椎後方長範囲固定術後に発生した固定頭側端骨折症例の検討. 第29回日本脊椎インストゥルメンテーション学会(オンライン) 10月, 2020.
58. 柴尾洋介, 國府田正雄, 江藤文彦, 河野 衛, 俣木健太郎, 三浦紘世, 野口裕史, 高橋 宏, 船山 徹, 安部哲哉, 山崎正志: 胸椎後縦靱帯骨化症術後に横紋筋融解症を発症した1例. 第29回日本脊椎インストゥルメンテーション学会(オンライン) 10月, 2020.
59. 高橋 宏, 齊藤淳哉, 小山慶太, 國府田正雄, 安部哲哉, 船山 徹, 野口裕史, 三浦紘世, 俣木健太郎, 柴尾洋介, 江藤文彦, 河野 衛, 中島 新, 園部正人, 赤津頼一, 青木保親, 大島精司, 山崎正志: 脊椎固定術後疼痛に対するブプレノルフィン貼付剤の効果. 第29回日本脊椎インストゥルメンテーション学会(オンライン) 10月, 2020.
60. 辰村正紀, 長島克弥, 江藤文彦, 伊藤弘樹, 堤 亮介, 船山 徹, 山崎正志: 転移性脊椎腫瘍に対する後方固定術の予後の調査. 第29回日本脊椎インストゥルメンテーション学会(オンライン) 10月, 2020.
61. 堤 亮介, 辰村正紀, 伊藤弘樹, 長島克弥, 江藤文彦, 船山 徹, 山崎正志: 椎変性側弯症に対するLIF後の後方固定術における矢状面矯正角度の検討 - Grade2骨切り併用の有無での比較 -. 第29回日本脊椎インストゥルメンテーション学会(オンライン) 10月, 2020.
62. 長島克弥, 辰村正紀, 江藤文彦, 伊藤弘樹, 堤 亮介, 船山 徹, 山崎正志: チタン製プレートを用いた棘突起再建片開き式椎弓形成術における棘突起の骨癒合率. 第29回日本脊椎インストゥルメンテーション学会(オンライン) 10月, 2020.
63. 野口裕史, 安部哲哉, 船山 徹, 俣木健太郎, 三浦紘世, 柴尾洋介, 河野 衛, 江藤文彦, 高橋 宏, 國府田正雄, 山崎正志: ケージ内移植骨としてヒト脱灰骨基質(DBM)を用いた側方腰椎椎体間固定術の椎体間骨癒合の短期調査. 第29回日本脊椎インストゥルメンテーション学会(オンライン) 10月, 2020.
64. 船山 徹, 安部哲哉, 野口裕史, 三浦紘世, 俣木健太郎, 柴尾洋介, 江藤文彦, 河野 衛, 高橋 宏, 國府田正雄, 山崎正志: 骨粗鬆症性椎体骨折に対する経皮的椎弓根スクリューを使用した椎体形成併用後方固定術における術後の矯正損失量予測. 第29回日本脊椎インストゥルメンテーション学会(オンライン) 10月, 2020.
65. 船山 徹, 酒井晋介, 安部哲哉, 野口裕史, 三浦紘世, 俣木健太郎, 藤井賢吾, 熊谷 洋, 長島克弥, 柴尾洋介, 江藤文彦, 河野 衛, 佐藤康介, 朝田智之, 高橋 宏, 國府田正雄, 山崎正志: パーソナル3Dプリンターを用いた脊椎実体模型による術前評価・術中支援の試み. 第29回日本脊椎インストゥルメンテーション学会(オンライン) 10月, 2020.
66. 俣木健太郎, 河野 衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 三浦紘世, 野口裕史, 高橋 宏, 船山徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: トモシンセシス動態撮影を使用した脊椎椎弓根スクリューの弛みの定量的評価法の開発. 第29回日本脊椎インストゥルメンテーション学会(オンライン) 10月, 2020.
67. 俣木健太郎, 船山 徹, 安部哲哉, 朝田智之, 河野 衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 熊谷 洋, 三

- 浦紘世, 野口裕史, 高橋 宏, 船山 徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: 変形後側弯症に対する後方矯正固定術時の矯正操作に同期して一過性低血圧を生じた1例. 第29回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 (オンライン) 10月, 2020.
68. 俣木健太郎, 船山 徹, 安部哲哉, 朝田智之, 河野 衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 熊谷 洋, 三浦紘世, 野口裕史, 高橋 宏, 船山 徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: 変形後側弯症に対する後方矯正固定術時の矯正操作に同期して一過性低血圧を生じた1例. 第29回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 (オンライン) 10月, 2020.
69. 俣木健太郎, 河野 衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 三浦紘世, 野口裕史, 高橋 宏, 船山 徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: トモシンセシス撮影が術後頸椎前方ケージ設置評価に有用であった1例. 第29回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 (オンライン) 10月, 2020.
70. 三浦紘世, 佐藤康介, 河野 衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 俣木健太郎, 野口裕史, 高橋 宏, 船山 徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: Controlling Nutritional StatusとSurgical Apgar Scoreは頸椎術後の主要合併症予測因子となりうる. 第29回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 (オンライン) 10月, 2020.
71. 船山 徹, 安部哲哉, 辰村正紀, 藤井賢吾, 江藤文彦, 柴尾洋介, 長島克弥, 河村春生, 三浦紘世, 俣木健太郎, 野口裕史, 國府田正雄, 山崎正志: 新鮮骨粗鬆症性椎体骨折に対する初期の入院安静臥床による椎体圧潰の進行予防効果. 第22回日本骨粗鬆症学会 (オンライン), 10月, 2020.
72. 星合壮太, 入江敏之, 森 健作, 福田邦明, 石毛和紀, 長谷川直之, 高橋信幸, 新井弘隆, 森耕一, 古西崇寛, 増本智彦: シスプラチン溶液と破碎ゼラチン粒の繰り返し動注によるTACE安全性と有効性に関する前向き試験の結果. 第56回日本医学放射線学会秋季臨床大会 (オンライン), 10月, 2020.
73. 新里悠輔, 遠藤壮登, 長谷川直之, 福田邦明, 橋本諒典, 松岡亮太, 中山雅博, 溝上裕士: 頭頸部癌治療を契機に発症した好酸球性胆管炎の2例. 第56回日本胆道学会 (福岡), 10月, 2020.
74. 小川貴史, 太刀川弘和, 白鳥裕貴, 太田深秀, 袖山紀子, 坂本 透, 新井哲明: 新型コロナウイルス感染症による 外出自粛要請下での大学生メンタルヘルスに関する調査. 第58回全国大学保健管理研究集会 (京都), 11月, 2020.
75. 井出亮太郎, 太田深秀, 新井哲明: アルツハイマー病と軽度認知障害患者におけるバランス能力の検討. 第39回日本認知症学会学術集会 (三重), 11月, 2020.
76. 太田深秀, 新井哲明: 脳神経ネットワークと言語障害の関連について. 第39回日本認知症学会学術集会 (三重), 11月, 2020.
77. 樋口貴士, 石井龍太, 塚原知樹, 林 苑子, 張 紅, 松永恒明, 金子洋子, 多留賀功, 間瀬かおり, 楊川堯基, 石津 隆: 上腕の尺側皮静脈表在化により自己血管での維持透析を継続し得た一例. 第65回日本透析医学会学術集会・総会 (オンライン), 11月, 2020.
78. 船山 徹: 配向連通孔を有する人工骨の基礎と臨床応用. 日整会合同シンポジウム 生体親和性材料の最新知見. 第50回日本臨床神経生理学会学術大会 (オンライン), 11月, 2020.

79. 遠藤壮登, 長谷川直之, 新里悠輔, 池田貴文, 鈴木宏清, 丹下善隆, 山浦正道, 溝上裕士: 当院における Walled-off necrosis に対する内視鏡的ネクロセクトミー導入初期の治療経験. 第100回日本消化器内視鏡学会総会 (兵庫), 11月, 2020.
80. 安富元彦, 松村聡介, 塩澤利博, 松田峰史, 酒井千緒, 藪内悠貴, 松山政史, 中澤健介, 増子裕典, 小川良子, 際本拓未, 松野洋輔, 森島祐子, 坂本 透, 家城隆次, 檜澤伸之, 鈴木敏夫, 関根郁夫: オシメルチニブによる薬剤性肺障害を来した症例の検討. 第242回日本呼吸器学会関東地方会 (東京), 11月, 2020.
81. 江藤文彦, 辰村正紀, 長島克弥, 三浦紘世, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: 脊髄壊死により対麻痺を呈した1例. 第43回日本骨・関節感染症学会 (オンライン), 12月, 2020.
82. 白鳥裕貴: 臨床現場での自殺リスク評価. 第17回日本うつ病学会総会 (福岡), 1月, 2021.
83. 荒木一寿, 下村 治, 宮崎貴寛, 橋本真治, 遠藤壮登, 長谷川直之, 石毛和紀, 倉田昌直, 小田 竜也: FOLFIRINOX療法16ヵ月施行後のConversion切除でpCRを得たUR-LAの1例. 第51回日本膀胱学会大会 (兵庫), 1月, 2021.
84. 鈴木宏清, 遠藤壮登, 小野田翼, 池田貴文, 新里悠輔, 廣瀬 優, 杉山雄太郎, 伊藤嘉美, 長谷川直之, 石毛和紀, 福田邦明, 溝上 裕士: 重症急性膵炎後の被包化膵壊死により複数の消化管閉塞を来した一例. 第51回日本膀胱学会大会 (兵庫), 1月, 2021.
85. 下村 治, 橋本真治, 宮崎貴寛, 土井愛美, 荒木一寿, 遠藤壮登, 長谷川直之, 石毛和紀, 倉田昌直, 小田竜也: 切除不能膀胱癌に対する集学的治療 UR-LA膀胱癌に対する温熱療法+陽子線+化学療法を用いたTriple-modal集学的治療. 第51回日本膀胱学会大会 (兵庫), 1月, 2021.
86. 藪内悠貴, 松村聡介, 松山政史, 松田峰史, 酒井千緒, 塩澤利博, 中澤健介, 増子裕典, 小川良子, 際本拓未, 松野洋輔, 森島祐子, 坂本 透, 檜澤伸之: BAL中の好酸球増多からAEPを疑ったが, CD4/CD8比の以上低値を契機に診断したHIV関連PCPの1例. 第179回日本結核・非結核性抗酸菌症学会関東支部会 第243回の本呼吸器学会関東地方会 合同学会 (オンライン), 2月, 2021.
87. 白鳥裕貴, 小川貴史, 太田深秀, 袖山紀子, 坂本 透, 新井哲明, 太刀川弘和: Covid-19影響下における大学生のコピーング手段について. 第40回日本社会精神医学会 (東京), 3月, 2021.

<講演>

1. 船山 徹: 骨粗鬆症と脆弱性骨折の治療. アステラス社内セミナー, 9月, 2020.
2. 長谷川直之: レンバチニブ の長期使用経験. LENVIMA-HCC Meet the Expert (オンライン), 12月, 2020.
3. 長谷川直之: B型肝炎診療の最前線. 第5回肝炎医療コーディネーター Webセミナー (オンライン), 3月, 2021.

<受賞>

1. 船山 徹: 令和2年度筑波大学医学医療系優秀教員賞

令和4年3月

編集・発行 筑波大学保健管理センター

〒305-8577

茨城県つくば市天王台1-1-1

電話 (029) 853-2401

FAX (029) 853-2402
